

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号機工事計画）（34）
2. 日時：令和2年12月9日 14時20分～17時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全管理調査官、江崎企画調査官、植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、皆川主任安全審査官、小野安全審査専門職、土居安全審査専門職、服部安全審査専門職、杉原技術参与、谷口技術参与、山浦技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 副部長、他2名

原子力本部 土木建築部 部長、他7名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」（令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- (1) VI-2-10-2-2 防潮堤の耐震性についての計算書（O2-E-B-19-0024\_\_改0）
- (2) VI-3-別添3-2-1 防潮堤の強度計算書（O2-E-B-20-0003\_\_改0）
- (3) 補足-140-1 【津波への配慮に関する説明書の補足説明資料】（O2-補-E-01-0140-1\_\_改3）
- (4) 防潮堤の評価対象断面の選定について（O2-他-F-17-0001\_\_改0）
- (5) 防潮堤（鋼管式鉛直壁）のうち一般部の過剰間隙水圧比分布について（O2-他-F-17-0002\_\_改0）

- (6) VI-5 計算機プログラム（解析コード）の概要（VI-2-10-2-2 防潮堤の耐震性についての計算書において使用している計算機プログラム（解析コード））（O2-E-B-22-0006\_\_改0）
- (7) VI-5 計算機プログラム（解析コード）の概要（VI-3-別添-3-2-1 防潮堤の強度計算書において使用している計算機プログラム（解析コード））（O2-E-B-22-0007\_\_改0）
- (8) 工事計画に係る補足説明資料 補足-900-1 【計算機プログラム（解析コード）の概要に係る補足説明資料】（補足-140-1 津波への配慮に関する説明書の補足説明資料において使用している計算機プログラム（解析コード））（O2-他-F-22-0001\_\_改1）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。規制庁フジワラです。今からヒアリングのほう開始いたします。説明のほうをお願いいたします。
0:00:19	はい、東北へ2億イワダテと申します。
0:00:22	本日ご提出させていただきました資料のうち当主に③番と④番と⑤番のほうを用いて説明させていただきます。
0:00:36	最初に③論 6. +3 ベンノ資料襲っ交通E01010
0:00:45	はい。
0:00:46	そこに県税の1津波への配慮に関する説明書の補足説明した資料になりますが、こちらの6.1.1をお願いいたします。
0:01:02	6.1が防潮で鋼管式鉛直塩基の耐震性についての計算書に関する補足説明資料になります。
0:01:09	なぜこちらの資料でも調停鋼管式鉛直力が二つの一般部と岩盤部というふうに置かれておりますので、まず日本軍の方の構造概要を説明させていただいて、④番の
0:01:24	断面選定で一般部の断面選定を
0:01:28	御説明させていただくところまで1度、
0:01:33	一連の流れとして御説明させていただきたいと思っておりますが、そのような流れでよろしいでしょうか。
0:01:39	規制庁フジワラですねとはいえ、基本的にはその中で結構で適宜丸ごとかを用いてご説明ください。
0:01:47	以上です。
0:01:51	トーク転倒等に措置いたしました。④資料が終わりましたら引き続きなるご説明させていただきたいと思っております。
0:02:00	それでは説明のほうで説明させていただきますと6.1は持つて鋼管式鉛直域の耐震性に関する補足説明資料ですが、
0:02:12	こちらの2ページをお願いいたします。
0:02:20	2ページの2.津波ということで膨張低のファン用是認. 1-1に示しております。
0:02:27	この図で見させていただきますと、パッカーで範囲を書いているところは、防潮という鋼管式鉛直平均値一般部。
0:02:36	緑で書いている部分が防潮という鋼管式鉛直日勤の岩盤分類。
0:02:42	そういうことで整理をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	この系統目安としましては、日本の場合と防潮丁寧な全員による旧表土が分布しているようなところで、盤類につきましては、管板で囲まれているようなところを本文と添付書ましてこれの経営をしてございます。
0:03:01	3 ページお願いします。
0:03:05	うん。
0:03:07	3 ページに認定にクローズの弁ですけれども、
0:03:14	日本消します防潮抵抗感震計鉛直向きは、陸による浸水高さ、こちらのピークは逡巡点目となりますが、
0:03:23	こちらに対して余裕を考慮したって電話とかさ構成としてはOP+29m、
0:03:29	そうするとございます。
0:03:30	構造概要につきましては、
0:03:34	2 ページから
0:03:36	6 ページ。
0:03:38	一方、お示しておりますけれども、
0:03:41	日本の貢献にイトウ構成者線引き漂流物防護工を杭上部と。
0:03:50	交換のイトウ及び置換コンクリートに下部構造から構成されておまして、
0:03:55	空港の
0:03:57	ご承認改良地盤、
0:03:59	コンクリートの条文にきちんと解像度が設置されるようなこととございます。
0:04:05	イトウ 4 ページに図 2-1 には、ちょうど感じ。
0:04:09	お示してございます。そして、
0:04:11	図的なのに、
0:04:14	ページの図 2.4 には少人数ということで、
0:04:18	共立も向こうと推察ウエキの断面から来た職員像を示してございます。
0:04:26	ページにつきましては、断面図ということで、
0:04:31	町名途端に二つの図面、
0:04:35	御示しております。
0:04:38	はい。
0:04:41	またやっぱりコンセンサスに来投票の物の方の調査ですけれども、こちらはページがちょっと展望大変恐縮なんです、182 ページに、
0:04:52	お願いいたします。
0:04:55	。
0:05:02	185 ページに 3.8 定義構成写真胸部俵物方向の教育内容かというところなんですけれども、こちらのところに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:11	前を少し前のページよりは詳細に書いてございますので、こちらで御説明いたします。
0:05:19	186 ページのどと図 3.8-1 に、
0:05:23	コーセイ社製機器という物も向こうの構造図ということで、
0:05:27	記載させていただいておりますけれども、
0:05:30	音声社製の機器は、スキームプレートと垂直リブ、あと水平 2mの三種類で構成されております。
0:05:38	でヒアリング向こうにつきましては、課題の上部構造、二つ目。
0:05:45	構成されております。MeVポンプにつきましては、課題に取りつけられておりまして、この
0:05:52	第 2 報はスプレッドを挟んで水平部と同じ高さに取りつけられております。
0:06:00	186 ページ。
0:06:03	図 3.8-1 の(1)。
0:06:07	を見ていただきますと、今御説明したいなという
0:06:11	前法に書かれておりまして、イトウ数のレベルとしましては、
0:06:18	防護具広告費漂流物防護工に作用した荷重が過大国庫分強流通方向と、
0:06:25	当月水平 2 部を介して、交換分 1 とか 10 流れてくるような構造として
0:06:35	今回設計もしております。
0:06:40	はい。
0:06:41	続きますよと 9 ページに戻って、
0:06:45	いただきまして、
0:06:56	すみませんちょっと説明が抜けておりましては 8 ページの図 2.2-4 に、
0:07:02	新城委員との概念図ということ載せておりまして、
0:07:06	杭と杭の間に一等止水目地をベントのほうを設置することとしておりまして、
0:07:12	あと、
0:07:14	データのシリコン目地 10 日とゴムジョイント西 9 位
0:07:18	時に応じて設定することとしてございます。
0:07:22	9 ページをお願いいたします。
0:07:30	検定にポン役員さんの評価方針として示してございます防潮て効果試験直撃をSクラス施設があります。津浪防護設備されてございます。
0:07:42	このもう調停鋼管式鉛直塩基の耐震評価につきましては、10 ページの表 2.3-1 に示す通り、それは別途設地盤の健全性評価、基礎地盤のシステム強化、また別途設の変形性評価を行うこととしておりまして、
0:08:01	それらの評価方法ですとか、許容限界について 10 ページの表 2.3-1 にまとめてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:12	と。
0:08:13	資料がちょっと少し飛びますが、一つにつきましては共同計算のほうの補足について御説明いたします。
0:08:20	資料 6.1-2 に該当します。
0:08:34	資料 6.1-2 は、
0:08:37	防潮て鋼管式鉛直機器の強度計算書に関する補足説明になります。
0:08:43	そう。
0:08:45	この
0:08:47	位置ですとかこう材料につきましては別途耐震計算書と同様になりますので、どうもそう新聞も異なりますせえと 2.3 評価方針になります。ご説明いたしますとページ 8 ページになります。
0:09:03	8 ページ。
0:09:05	問だけ。
0:09:07	の
0:09:10	チーム。
0:09:12	3 段落目に記載してございますが、当強度計算に教育におきましての絵と津波時と余震、
0:09:21	津波の組み合わせのAと重畳時負荷パターンについて評価を実施することとしておりまして、
0:09:30	これらの評価項目につきましては、時 9 ページ。
0:09:35	10 ページのほうにお示ししてございます。
0:09:44	ここまでが
0:09:46	防潮ての構造。
0:09:48	内容と評価の方針につきまして御説明させていただきましたので、続きまして資料 4 の断面選定のほうを御説明させていただきたいと思います。
0:09:59	資料 4 をお願いいたします。
0:10:14	よろしい資料御説明させていただいてもよろしいでしょうか。
0:10:20	はい。資料 4 の説明をお願いします。
0:10:24	資料④ですわも調停の強化どんどん対象断面の選定について、
0:10:32	ということで御説明させていただきます。
0:10:37	1 ページに、
0:10:38	1 ポツに方針として記載してございますが、
0:10:43	防潮て、入居駄目につきましては、
0:10:47	構造物の形状配置周辺地盤の状況、地下水近接構造物のM荷重条件等を考慮しまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:54	耐震評価または耐津波評価上厳しくなると考える。一応別途評価断面とします。
0:11:01	これらの選定の上につきまして、図 1-1 に選定グループを示してごさいます。
0:11:08	こちらのフローにつきましては、当箇所図基金のフローを踏まえた上で、
0:11:14	断面選定のフロー。
0:11:16	今回新たに作成してごさいます。
0:11:21	防潮点につきましては、先ほどお話しした通り、決定鋼管式鉛直力が一般部と岩盤に二つに分かれておりまして、あと防潮低濃度堤防がありますので大きく三つに分かれますので、この構造ごとに図 1-1 のフローに基づきまして、
0:11:40	断面選定を実施いたします。
0:11:43	図 1-1 プロに基づきますと、防潮では、一つ目のひし形
0:11:48	こちらが構造物の断面形状及び周辺の基盤字の形状は一応かということになりますが、こちらですべてNO2、
0:11:57	そうなりますので、
0:11:59	このフローの中の右側のほうにもフローに基づくこととなります。
0:12:07	図 1 の右側のフローご審議いただきますと、
0:12:12	さらに、耐震
0:12:14	強化公募断面の整備津波標高候補断面の整理、
0:12:18	この二つに分かれておりましてそれぞれの耐震耐津波評価における
0:12:25	候補断面を整理して、
0:12:28	それぞれ対応した津波評価対象断面の検討を行って、
0:12:34	評価断面を選んでいく。
0:12:36	という流れになってごさいます。
0:12:41	耐震を見た五つの評価脱法コナミの整備の観点につきましては、同じく 1 ページの 1.1
0:12:49	b. にちょっと記載している項目で整理をしていきます。
0:12:55	2 ページをお願いいたします。
0:13:00	はい。
0:13:01	フレームのほう冷凍 2 ページで 1.31. 2、耐震評価。
0:13:07	耐震評価対象断面の選定、耐津波評価。
0:13:11	断面の選定でごさいますが、
0:13:13	ちょっと 1 点、1.2 で
0:13:16	広報の欄を整理した上で、この 1.31. 4 に基づいて、
0:13:22	評価対象断面を絞り込んでいくのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:25	形になります。
0:13:28	続きまして、3 ページ、2 ポツ、
0:13:32	もう調停鋼管式鉛直液のうち、一般部の断面線っていう考え方。
0:13:38	についてご説明いたします。
0:13:43	あと、
0:13:45	2 ページにカラーの図 2-1 から 2-11 に調停理事。
0:13:52	平面配置図、縦断図及び断面図をお示してございますが、こちらは一般部が設置されている血糖範囲に対しまして、ある程度のスパンごとに断面図を示しております断面図が 2-3 から
0:14:07	4 ページ 5 ページの 2-3 から 7 ページの 2-11 まで。
0:14:12	示してございます。
0:14:13	それらの断面位置を 4 ページの図 2-1 に平面図で南に縦断図ですが、
0:14:22	こちらにお示しております。この波であると思って、一般部の地質、
0:14:29	地質の状況が縦断方向でどうなっているかということをお示している。
0:14:36	資料になります。
0:14:41	。
0:14:42	8 ページの 2-1 をお願いいたします。
0:14:52	8 ページ 2.1 で標高候補断面の整理、
0:14:57	なります。当分
0:14:59	こちらは
0:15:02	まず 2.1-1 区間の特徴整備ということで、一般部につきましては、構造的特徴により、さらに蓋間に分類されておりますと、まず、1 万分の 3、
0:15:16	1 区間につきましては、一般部の大部分を占めておまして鋼管ぐい構成者数平気環境構築コンクリート見える粒及び湿潤とかなり区間。
0:15:28	として設定しております。
0:15:31	上に係るプロセスの中につきましてはものの低迷との境界部になりまして、底部と構造が重なる部分を 2 区間として特徴を整理しております、
0:15:42	これらに区間ごとに当評価断面を選定していくことになります。
0:15:52	これが 1 区間に区間の特注につきましては、ちょっと 8 ページ 9 ページにそれぞれ記載をしてございまして、
0:16:01	これらをまとめたものが 10 ページの表 2-1 になります。
0:16:12	続きまして、11 ページをお願いいたします。
0:16:19	1 ページのほうが臨店 1-2 表工房断面の整理となりまして、
0:16:26	これから危険物に評価対象断面を設定していくんですけどもその観点。
0:16:33	について、ここで整備してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:36	産業技術につきましては副水分によって構成されておりますので、耐震耐津波評価における評価上厳しくなる断面がそれぞれのV0 となるということが想定されます。
0:16:51	そのため、断面、
0:16:55	評価対象断面の整備のための観点を、
0:16:59	部位毎に整備してございます。
0:17:08	なお、地下水等あと入力津波につきましては一般ではなかったで一定でありますので、今回の整理からは対象外。
0:17:17	としてございます。
0:17:20	12 ページに表 2-2 として観点。
0:17:26	評価コード断面整理における観点をまとめた表でお示してございまして、この評議員至るまでの考え方っていうところを、
0:17:37	13 ページから 16 ページのほうに示し、
0:17:42	してございます。
0:17:45	13 ページから 16 ページにつきましては、一方、
0:17:52	3、図 2-3 から図 2-11 にお示して財務面でお示してはしておりますが、
0:17:59	時構造的特徴ですとか、就任状況が断面ごとに異なっておりますので、
0:18:08	それらの部位ごとに
0:18:12	阪神強化状に津波評価のこういった観点が厳しくなるのかということを考えて、
0:18:21	なお教務まとめたものになります。
0:18:28	10 ページの表 2-2 を見ていただきまして、
0:18:33	ちょっとこれは
0:18:37	観光展
0:18:38	評価候補断面を選ぶ上でまとめた観点になるんですけども、
0:18:45	全部で一般の場合は四つの観点を選定してございます。
0:18:51	協議ゲット問題これで熱に
0:18:55	丸数字で①から⑨まで観点を示してございますが、
0:19:00	①ということで、ちょっと岩盤上部深さ
0:19:04	ということを選定してございます。
0:19:07	これは例えばですがあの公開の見ていただきますと、
0:19:13	分類表の一番右に観点とるように見えていることで書いてございまして、こう考え方の岩盤上部に深さによって岩盤から伝える時診療に行けばしっと帳じりので加速度が異なると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:28	ということは、症状断面によっても影響するため、このバンバン上限の深さと浅いところ深いところ件ぐらい影響するというのでこの観点で選んでございます。
0:19:38	泊のベンダーD級プラスCAQの厚さと。
0:19:42	ということで、
0:19:45	運用としましては、こちらにも貢献グレーにしますと、比較的合成の小さい、D級とCH級の岩盤の厚さという加速度応答ですとか人は異なって生じる断面力に影響するためということで、この観点選んでございます。
0:20:02	はい。
0:20:02	この3本の鋼管杭の突出長部になります。こちらの貢献部位で説明しますと、
0:20:10	どこかにベンノと一緒にやって鋼管ぐい、またはコーセイ社製平均に作用する津波数ですとか地震時の速度が異なります。ですが、やっぱりにつきましては、当庫室長いっぺんにモードへ
0:20:25	今回はだめ性D恐慌公庫断面の整理からは対象外としてございます。
0:20:32	続きまして④番、CM級言論住民の深さということで、
0:20:38	こちらは地区にコンクリートの方に御説明します。
0:20:44	置換コンクリートの上限レベル等と当然方向の幅は一定となっておりますので、置換コンクリートの底面が深いほど計上が縦長となって使うコンクリートに発生する応力が変化してと滑り安全率に競合するということで考えられます。
0:21:00	なので、
0:21:01	えっと、厚いほうが厳しくなると考えておりますので、④番につきましては、CM級岩盤の上限が深いほど
0:21:08	と厳しいということで、この深さを観点としてございます。
0:21:13	⑤ベンノのプロセス系表土の厚さということで、
0:21:18	戻って、
0:21:19	それで時ドーナツ鯖江と鋼管杭ですとかも、ほかの防潮で構造に、
0:21:24	与える影響が大きいでしょうということで、この観点を設置してございます。
0:21:29	⑥番につきましては旧表土の厚さということで、
0:21:34	液状化強度の小さい旧表土が厚く分布することで、もう調停に影響を大きいということで、この観点を選んでございます。
0:21:46	どこの観点をもとにこれからだめ選定のほうしていきますので、御説明してみたいと思います。17ページお願いいたします。
0:22:02	次のページ、2.2 評価対象断面選定となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:09	基本で示した表後段の整理を踏まえまして、評価高校断面を選定していきます。
0:22:18	本項としましては、今ほど御説明させていただいた観点からやって評価上厳しくなると想定される断面を選定していきますと、多分選定に当たりましては、
0:22:30	ちょっと先ほど御説明した観点がすべて地質就任地質の観点になるので、
0:22:36	地質図の増強を見て、裏面選定をしていくこととなりますまして、
0:22:44	また防虫点につきましては、従前工認当時逆な構造物でありまして、中段方向に地質状況に変化があること、また別途皆さんから全部 11 に示します断面図よりも何かこの部分には地層の懸念が見られないということがありますので、
0:23:04	図 2 に示す防潮低の縦断図、
0:23:11	図 2 には、4 ページになりますがこの 10 人図に基づいて関係、
0:23:17	観点三つの観点で厳しい断面を選んでいくということになります。
0:23:23	その波が目の下断面の選定結果。
0:23:28	17 ページ 8 ページに文章で記載してございまして、この表でまとめたものが 10 ページになります。19 ページの表 2-3 になります。
0:23:45	19 ページの表の 3 のほうで別途御説明させていただきます。
0:23:50	まず小一時間ローマ数字の I 区間につきまして、
0:23:56	時運転が横に①から⑥で並んでございます。これの観点ごとに厳しくない場面という言葉を選んでいくような流れとしておりまして、まず断面①につきましては、施設失礼いたします観点がある値につきましては、岩盤上限深さということで、
0:24:14	岩盤上限が深いところと浅いところ上選ぶ方針としております。
0:24:20	岩盤上部の浅い箇所につきまして顔面の標高でいうと評価を代表させることとしておりますので、一般部については岩盤上部が最も深いところを選定し、
0:24:35	てることとされまして、
0:24:39	管板住民が最も高くなりますのが、
0:24:42	1-①断面ということになります。この言葉道につきましては、20 ページ。
0:24:49	に縦断方向に
0:24:54	対象断面を選んだって等理由という過去の
0:24:58	表 2-3 の理由を絵に表したのようになりますが、こちらと対比していただきながらご覧いただければと思います。
0:25:09	あと、①の岩盤の深さにつきましては、岩盤住民をもっと深いということで 1-①断面を選定してございます観点②のD級プラスCL級岩盤の厚さにつきましては、このリンクプラスCAQ岩盤が厚いところと薄いところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:29	こちらは分布しないものになりますが、
0:25:32	この観点からいきますと、まずもっても厚いというところは 2-13-10 段で見ますと、1-③断面に該当します。
0:25:42	部と 1、
0:25:44	できるPRACL級岩盤が分布しないというところで、
0:25:48	1-②断面相当します。この 1-②断面は、5 追って御説明しますがブックの観点から選ばれるという理由で
0:26:00	B+C級が分布しないところは、
0:26:05	ほかにもございますが、そういった理由で選定してございます。
0:26:11	③番の土地につきましては今回対象外としておりますので省略しますと④欄につきましては、CM級岩盤表面の深さが俯瞰方は置換コンクリートにとって厳しいということを御説明いたしましたので、
0:26:26	チーム級岩盤が最も深くなる断面を選びますと、こちらにつきましては、図の 13 を見まして、
0:26:34	1-①断面が選ばれます。
0:26:39	続きまして観点⑤につきましてはもう二度とプロセス警報の厚さですが、こちらでも森で旧表土の厚さが最も厚いところというところで、
0:26:49	2-13 の縦断図から 1-01 波選定しております。
0:26:55	続きまして、⑥の観点として、旧表土の厚さということになりますが、
0:27:02	旧表土が最も厚い面は刷りの 13 から 1-②断面ということで選定してございます。
0:27:10	これの観点で最も厳しくなると。
0:27:15	選ばれたものが 1 区画の中で、
0:27:18	3 断面ございますので、これらすべてを評価対象断面として選定してございます。
0:27:25	また、うちの 1 年目につきましては、* 一番としてつけておりますが、設置許可時の基礎地盤安定解析例と結果を示しただけになってございます。
0:27:36	ダストにつき 2 番につきましては、設置許可段階で構造整理防潮での構造成立性を示してございますが、こちらに使用した断面になります。
0:27:46	1-③断面につきましては、今回工認段階において追加遮断なります。
0:27:54	これも 1000 日区間につきましては、非常になりまして、続きまして 2 区間ですけれども、区間につきましては、
0:28:04	縦断方向の地質状況が大きく変わらないと考えておりますので、
0:28:09	ここについての比較につきましては構造的特徴から選定することとしておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:15	等も堤防とか産学官なので、その分程度の厚さが最も厚くて耐震評価に影響を及ぼすと考えられる2の①断面ということで、こちらについては、このような考え方で選定してございます。
0:28:32	結果として、一般部から、
0:28:36	4断面、
0:28:39	選んでおりました市来君から三つ区間から一つの断面を選定してございます。
0:28:49	さてどちらに行けと記載関連づけてなくて大変申し訳ありませんが、1-①断面につきましては、
0:28:59	と耐震計算書上の断面①、1-②断面が断面②、1-③断面が断面③、
0:29:09	2-①断面が断面④ということで、
0:29:13	決算書の項を作成させていただいてございます。
0:29:19	続きまして、ちょっと21ページをお願いいたします。
0:29:25	21ページ2.2.3に近接米物になり得る教育確認断面の選定ということで、
0:29:33	もうちょっと、周辺には、
0:29:35	図2の事業に示す通り、様々な近鉄構造物がございまして、これらの影響を確認するためにどう影響確認断面ということで、
0:29:48	うん。
0:29:50	税務矛盾しますと2号機海水ポンプ室。
0:29:54	見せする断面ということで提供確認を行います。
0:29:59	こちらを選定したとしましては、防潮点の背任改良地盤サポート室。
0:30:05	さらには改良地盤が合っているという現状建屋ということで合成が高い。
0:30:10	ものが続きますので、こちらを場面として選定してございます。
0:30:16	こちらの詳細につきましては、補足説明資料、
0:30:21	それぞれの6.1-1期の5章に詳細仕様を示しておりますので、後日、結果のほうを御説明させていただきます。
0:30:32	22ページをお願いいたします。
0:30:37	次のページ、2.2.4は、断層厚整備による影響確認断面の選定ということで、
0:30:44	あと、
0:30:45	図26に示しておりもう調停一般部はsF2断層、SF201と。
0:30:51	専任の前に来さします。
0:30:55	ほんでsF断層のこの変形による影響確認するためにと。
0:31:00	断面の選定して影響確認講義を行います。
0:31:06	詳細につきましては、こちら補足説明資料のほうに示しておりますので、別途御説明させ、本日御説明させていただきます。
0:31:17	一般の断面選定につきましては以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:22	この流れで資料丸棒のほうも御説明させていただいてもよろしいでしょうか。
0:31:30	はい。
0:31:39	はい、ちょっとし、
0:31:41	資料の⑤。
0:31:44	御説明させていただきます。
0:31:46	はい。規制庁フジワラですねという⑤の資料説明いただいた後1回ちょっとそこで一旦切ってまた質疑に入りたいと思いますが、⑤の説明をお願いします。
0:31:57	背景等分布イワダテ承知いたしました。それでは⑤番の資料を御説明させていただきます。
0:32:04	資料⑤番が、防潮抵抗乾式現調欠勤1本分の過剰間隙性を追記分布についてなります。
0:32:13	こちらでは、
0:32:15	防潮帝国試験直撃に落ち一般について、
0:32:20	この進捗における次元有限要素法解析チームこちらにPRA行っておりますが、本件過剰間隙水圧分布を示してございます。
0:32:30	今回例示したケースとしましては、クンルンの曲げせん断試験コンクリートに対して厳しくなる断面と地震力等ケース。
0:32:44	。
0:32:44	それぞれ一つずつを別途示してございまして、その家族、規制次分布を示す解析係数、
0:32:53	1ページ目の表1-1に整理しております。
0:32:57	これ清水の地震動
0:33:01	3ケースにつきましては、結構示してございます。
0:33:04	結果が2ページになります。2ページの図2-1から図3に、
0:33:10	最大過剰間隙水圧比分布
0:33:14	コンター図をお示してございます。
0:33:19	こちら地質図と見比べていただいて良いかと思しますので、普通でにつきましては、資料④、
0:33:32	いきますと、
0:33:34	イトウ
0:33:35	済みの全資料⑤の図2-1と図2の駄目②と申しておりますのが、
0:33:43	資料④-6ページにございます。住民の6-Vm断面と書いてあるもの。
0:33:51	一致します。
0:33:54	原子炉もあるかも。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:56	住民の 3 断面①につきましては、資料④の
0:34:02	5 ページ。
0:34:03	財政のページの図でございます浸水断面、
0:34:08	一緒に比べて、
0:34:11	ちょっと受けましたらと思います。
0:34:18	次に、例えばですがとずっと資料⑤の図 2-1。
0:34:24	なお、
0:34:25	資料④-6 ページ図 2-6 をあわせて血糖見ていただければと思いますが、
0:34:32	旧表土につきましては、当キッツ結構大目黄色いのほうに密閉過剰間隙水圧比が 95%以上になるところがあります。
0:34:44	或いは形になってございます。
0:34:47	一方ものですがけれども、トモニのこちら今度見ても、大体、
0:34:54	株価見据えつつに見ますと 80 から 90%ぐらい。
0:34:58	プレゼンになっておりまして、家族の施設基準%に達していないような
0:35:05	それでは解析結果から踏まえられているの形になります。/secにつきましては別途耐震計算書でご説明しますが、目標とともに知見である。
0:35:17	液状化試験を行った試験値の下限通るによって液状化強度曲線を設定して解析したものになります。
0:35:27	当マニュアルの説明としては以上になります。
0:35:34	規制庁フジワラです。代表断面の選定についてはちょっとまだ全部 4 月読めないところもありますがただ置いと最後にちょっとイオン一般が良いと思うことに関して人今回いやささせていただきたいと思います。
0:35:50	既設のエサキです。大分ですね、考え方を少し整理されたと思うんだけど。
0:35:56	これは僕はわかるだけで他の人たちもわからないと思います。
0:36:01	こう整理では、
0:36:03	うんで何を言いたいかがあんまりはっきりしていないと、大事な要素が許可であれだけ半年にかけて、
0:36:11	議論して整理したにもかかわらず、
0:36:14	にもかかわらずですね、まだ十分。
0:36:18	うん。
0:36:20	その成果がはき出せていないのかなっていう状況になっている。
0:36:24	いわゆるですね、これってすごく単価を
0:36:30	結論から

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:31	いうと、僕の観点からすると、今選んでると雨を悪くしないかなとは思ってはいるんだけど、それはまあ細かい審査を超えていくとそれなり追加等は増えるかもしれないですけど。
0:36:44	今の時点でいうとそんな悪くなると思うんだけど、それを
0:36:48	そう考えたときに、例えばですね、19 ページ抵抗雇用を結果を
0:36:55	逆で、
0:36:56	三井木田相当したならば、
0:37:00	どうしたらいいのかということなんですけど、
0:37:04	まずはですね、まず、
0:37:07	ここ、例えばここをですね、
0:37:12	施設の構造の話はしてはいるんですけど。
0:37:16	一番大事なことが何なのかった抜けてるんじゃないかなと思う。
0:37:21	僕はこれも説明しようと思うんならば、
0:37:24	まず、鋼管杭は1本1本がセパレート構造。
0:37:30	それは一つの大きな特徴ですよ。
0:37:33	今まですごく長い議論をしていたそれでいいのかと。
0:37:37	そうしたときに大事になってくるのは、鋼管ぐいは
0:37:42	ええ、背面補強工やセメント改良どう改良地盤、
0:37:48	これらによって気中で、この構造を固定化してるまたは一体化してるっていう、そういう構造特徴があるわけですよ。
0:37:57	なので、
0:37:58	今後、
0:37:59	施設として、一番
0:38:02	大事なものは、
0:38:03	中にある。
0:38:05	ここが壊れたら全部がバラバラになる。
0:38:09	そこが特徴的なはずですよってなるのかもしれないかっていうことを今までの既許可では、
0:38:16	購入のみ等土としてかなり検討してきたと思います。
0:38:21	その観点が重要ですよ。
0:38:24	何を言いたいかっていうと、それは大分後に、普通はもう言ってる話に繋がっていくんですけどね。
0:38:30	それで、この中で下位の熊野が改良地盤が一つの解決じゃないかっていう話があって、
0:38:38	なんで改良地盤を入れたっつう沈下防止だけじゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:42	前の 2 番、②とかその辺で書いて①と書いてあるように、
0:38:48	鋼管具いて、いわゆる改良地盤拝聴と改良地盤が余りにもかたいから
0:38:55	応力でないんですよ変形したいんです。
0:38:57	だから、これってすごく大事な話なんだよね。
0:39:03	で、
0:39:04	そういったことで、何をこう言ってるかっていうと、
0:39:07	いわゆる
0:39:09	改良地盤とか、
0:39:11	地下の
0:39:13	地盤設備ですよ。施設ですねそれぞれの部位に対して、
0:39:17	まず着目させた上で、次に着目しなきゃいけない、置換コンクリート、それ、それがもうですね含めて、
0:39:25	いうと、置換コンクリートは、
0:39:28	要は、背後の運送やその旧表土による、
0:39:32	動圧や滑り
0:39:34	機動力に対してすでに抵抗 6 として重要な役割を果たしてるんでそれらはどこに書いてあるかっていうと、例えばさっきの補足説明振幅調の 6-1-2-9
0:39:48	表の 2-3-1 の
0:39:51	例えばですね、
0:39:55	構造強度設計の性能目標というのは、もともと許可で書いてる話で、そこに大体、いわゆる私が言ったようなこと言っても普通に触れて書いてるんですよ。
0:40:06	いわゆる性能目標ドイてることが、
0:40:10	一番な重要目標なんですよ、ある意味、
0:40:18	防潮での
0:40:20	性能を果たすために、
0:40:23	そのためにどう考えるかっていうことで行ったときに、おそらくすごく構造的特徴として大事な話なんですよ。
0:40:30	そうして考えていたときに、今度は荷重の特徴ということで、これは 8 ページにも書いてある話ですけど、それ以降に書いてある話ですけど、基本的には、
0:40:42	上部工の
0:40:43	高さっていうか互層だから、基本的には初とか閉じ 10 月面積一緒ですよ。どこいってもとところでのように一緒だと当然漂流物衝突荷重がぶつかり 1 も一緒だとどこでも一緒だと。
0:40:57	あと、上部の慣性力っていうのは基本的に監査が必要だから変わるわけがないと思います。社長加速度が自動の加速度だったとしてもそれは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:07	そして大きいもんじゃないと思って。
0:41:09	次にはなきやいけないのは、背後の車人どうどうバツそれが一番の重要である地中にある施設、部位ですよね、そこに影響を及ぼしますってということだと思うんですよ。おっしゃりたいことは、
0:41:22	はい。
0:41:23	いわゆる動圧とか、これは斜面上に立ってるって書いてあると思うんですけど、いわゆる警察に
0:41:30	そして、いわゆる総計さ。
0:41:33	次にによる粗度変動圧
0:41:35	地震時の変動は図やだけ滑り機動力こうしたものをある意味抑制して抑え込んでいるのでその荷重が全部負担してくると、それに対して、
0:41:46	下の四角の構造がバラバラなっちゃいけないと。
0:41:51	ある程度そう一体性を保持しないとこの防潮ていうのは成立しませんよっていうことを言ってるわけだと思いますよ。
0:41:58	たくさん書いてあるんだけど、取り止めなくなっているんで、中学とそういうことになるわけですよね。
0:42:03	そうすると、イワダテもこのある程度書いてありますけど、そう。
0:42:10	次は
0:42:11	地盤との10月面積の大きいためをやりましょう。
0:42:15	ということになりますよね。そういうことをすると、H断面とか、
0:42:20	あと何だっけ。
0:42:23	D断面とか、
0:42:24	特に、CC断面の県庁の話なんでこういってか選ばれてくるものと、
0:42:30	いう話になるじゃない施工方法としては、
0:42:32	その中で特に後書いてあるのは、
0:42:35	9支給岩盤がに設置されているところ。
0:42:39	いわゆる支持岩盤が十分健康じゃないっていうか、D級支給に関して言うと、支持地盤が十分でないと、下が基礎地盤が、
0:42:50	次、
0:42:51	健康じゃなければ、
0:42:53	基本的には、その上にあってる構造物もバラバラになっちゃう可能性もありますよね、二つ量に組み合わせた構造ですから、
0:43:00	そういうことから観点する等、今選んできるとアメリカ選ばれるでしょうということだと思うんですよね。こういう話するとそうか話が好き。
0:43:09	まとまるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:11	皆さんたくさん書いていただいて、努力して帰っていただいているんですけど、一つの頭に入ってこない。
0:43:18	ということと思うんですよって何が重要で、これ何とって何を無視して省略し得て、何をやるポイントとして押さえてやらなきゃいけないのかというのは、欠陥土砂導き出されてるんですけど。
0:43:32	そもそも性能目標とか踏まえた
0:43:36	構造特徴の部分でちょっと欠けてるし、
0:43:42	極めてその改良地盤の記載とか抜けてますんで、例えばですね、今言ったような話を最後まとめに書いて、そのまとめに変えたことが前前段にあるページに、
0:43:55	どこでそういうファクトがよ見込めるのかということが紐づけされてる形だったらこの図書読めるのかなと思うんですけど。
0:44:06	全体をこの全体を読んでいくかのかまでの経緯を踏まえると、
0:44:13	今みたいな見解に達すると思うんですけど、これは規制庁が勝手に
0:44:19	思い込みで言ってることですから、それが正しいかどうかは別ですけども、そういったように、基本的に、もともと言っていた性能目標とか、いろんなものがあるって、
0:44:28	そうしたものから踏まえたときに何をされて何かは最重要課題だ。
0:44:34	それ重要なポイントなのかということも踏まえて説明していかないと我々大事、これも大事では言ってるんだけど計算結果
0:44:44	を踏まえて書き過ぎちゃってる。
0:44:52	逆に言うと、そもそも許可で言っていたところが流れてこないから話がわかりにくくなっている。
0:44:58	それで、
0:45:00	ただ、その計算結果見たときに、こういったポイントも必要になりますっていうことで、
0:45:05	加えていただけるのはそれでいいと思うんですけどね。
0:45:08	さらに検討した上で、詳細設計した上でこういうことも重要になってきました。
0:45:15	それが基本的には工認の詳細検討から議
0:45:20	話をつくり込んでるから話が
0:45:22	わかりにくくなっている。
0:45:24	すぐだと思いたすがいかがでしょうか。
0:45:30	はい、東北電力の橋本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:35	ここはちょっと今までも何回か御指摘いただきましたけれどもその基本のシナリオの記載が十分でないということと、あとはちょっと確かに性能目標の観点がちょっと
0:45:50	断面選定の資料としてはちょっと飛ばしてしまっているのをそこを補足したいと思いますあと、改良地盤につきましてもうちょっと間接的な書き方になっていて、ちょっと施設数を中心に書くことを重視してしまっていて
0:46:09	設置許可のときに議論した改良地盤の話が少し
0:46:14	はい。
0:46:15	資料そうですねはい。
0:46:18	設置許可のときの議論が少し読めなくなっているところがございますので組織なりを少し、少しではないです整理して
0:46:31	ちょっと見直したいと思います。
0:46:37	東北電力ベンノでございます。ご指摘の観点、大変申し訳ございません等、今ちょっとハシモトがうまく説明し切れなかったんですけど、これは資料をルール4ですね、岩盤面を選定の
0:46:53	資料になりますけどその12ページ。
0:46:56	結果のこれから御説明がここを改造することをちょっと頭に念頭に入れながらちょっとやっていますという話になります。つまり先ほど橋本が言ったように、我々どうしてもちょっとあの大きなミスだったのが12ページに書いてある通り、この表の2-2が実際、
0:47:13	断面を選ぶ際の論点という観点なんですけど、ここにエサキさんが御指摘いただいた地盤改良の地盤と我々が設置許可のときに位置付けたものが抜けていると。で、結果的に応力的に与える影響はここに書いてある①であったりとか②だったりということに整理をされる。
0:47:33	ような構造になっているってことはエサキさんが冒頭おっしゃっていただいたことに繋がってくると思いますので、ここにですね施設だけじゃなくて、今、基礎地盤しかちょっと書いていないので、そこで改良地盤だとか、そういったそもそもこの構造体として成立されたするために、
0:47:52	追加工事を含めて行ったものを入れさせていただいて、改めてちょっとその辺の論理展開重く紐つくかどうか、まとめに書いてそれにひもつかせるっていう一つの考え方も含めてですね、こちらのほうがわかりやすいか検討をちょっとさせていただきます。
0:48:08	申し訳ございません。
0:48:10	規制庁エサキですが、あと荷重的な特徴ということも、この周辺状況の中で、荷重的な評価

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:20	としてどう考えるかっていうのは多少ちりばめてはいるんだけど、そこはもう目も
0:48:26	労使を非常に
0:48:29	明瞭明快にさせていただきたいと。
0:48:32	何かを合わせてもいいとそんなに変わつたらなきゃいけない。それがわかりやすく、
0:48:37	なっていて、表の中ではそう思う。
0:48:40	省略したものがかなりとかさ。
0:48:43	あまりごちゃごちゃたくさん書かれても、何を論拠にして何を判断基準にしてこう決めたのかっていうのが見えてこないの、そういった判断基準と仮想をローン週ですね、メーカーになるように組み立てて欲しいなと思います。
0:49:00	。
0:49:04	はい、東北電力の橋本です。先ほどの基本シナリオの記載とも関連すると思いますけどもそういった
0:49:12	なんていいですか、中心となるシナリオから離れたところの省略を含めて、あとは先におっしゃっていただきましてその荷重ということについてもちょっと
0:49:26	9表となったとか間接的な言い方ですか述べられていないのでそこがもう少しわかるように記載したいと思います。
0:49:35	以上です。
0:49:38	規制庁の妥結長くなりますけど、それでその改良地盤っていうのは相当高さ
0:49:46	御キーポイントだとはいうふうには見えてるんですけど、ただ
0:49:51	高砂高さっていう深さが一つの受圧面積としてキーポイントとして上げるためには、その改良地盤とか置換コンクリートの
0:50:02	水平方向の幅ですよ、これは多分あまり変わらないんだと思います。
0:50:06	それはある程度明確にさせていただかないと、設置日スギハラと不安定性ごとかどうかってきますから、
0:50:12	必ずしもそう定性的なものがいえるのか言えないのかというのははっきりわからないですから、そうしたことをある程度、層構造的な特徴とか言ったときにはしっかり書いていただかないといけないと、あと、
0:50:26	話だけ構造することにも書いてないんで、どこのページも構図だと思えないんで。
0:50:32	ドーズっていうんであれば、しっかりと行動寸法入れていただくと。
0:50:36	建設当時の女川3号機の
0:50:38	66ですの後任としてはしっかり書いてあったと思いますんで、その辺の所審議会ってちゃんと通行が出てください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:46	話は、細かいところは入らないようにとは思ったんですが、いろいろちょっと我々も確認する上で寸法という必要があつてますので、それはどこかの当初に書いていただく必要があると思います。
0:50:59	あともう1個なんですけど。
0:51:02	例えば、
0:51:03	ここで観点は、その一つの断面ごとで厳しいところをとってくるっていうことも重要なんですけど。
0:51:12	もう1点の観点としては平面図上の広がり、いわゆる傍聴低の総延長上方向でですね。
0:51:22	応力集中する部位はないのかっていうと、基本的には見なきゃいけない一般論から設計的な一般的な考え方に基づけば、
0:51:31	構造や地盤急変部の応力集中当然その増員等結構してるわけなんですけど、そこに対しての変位と設計もしなきゃいけないので、それは設計断面として情報がなきゃいけないでしょうと。
0:51:43	いうことの観点が何も書いてないんで、そういう観点も加えてくださって効果福岡休憩人海定量に
0:51:51	両括弧2の空間に、
0:51:55	2区間ですが、ローマ数字Ⅱ負荷多分ここは、
0:51:59	構造変化分なんですよね、ちょうど
0:52:02	そういうことでここを選んでるっていうのはここでもうそれだけでもOKなっちゃうと思うんですよ、ここ選んだ理由として、まあそういうことも踏まえていくと話を
0:52:13	ロジック化すると、結果論かフード変ではないんですけど。
0:52:16	その辺の説明が何に着目して何を設計しなきゃいけないのが抜けちゃってるから。
0:52:22	ちょっとその辺がわかりにくくて、特にまとめのところあるじゃないですか、選定を選んだ理由、そこを整理学としてそこに今言ったような話はしっかり書いてないと。
0:52:34	我々どうそれを判断したらいいのかってわからないので、そこにローン集が明瞭になったものをしっかりと
0:52:42	選んだ理由判断基準
0:52:44	いうそう遠く電力と考え方がしっかりと
0:52:47	こう整理された形で書いていただきたいと。
0:52:50	それもくだいなんですけど、それに対してのエビデンスは前方に
0:52:55	紐付けをして帰っていただきたいということですね。
0:53:04	はい、東北電力の橋本です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:08	カバーが変わらないことでのというのは、置換コンクリートについて少し書いてたんですけどもおっしゃる通り、改良地盤について特に寸法的なものを記載しておりますので、先ほどの話とあわせてと改良地盤についての記載を改めたいと思います。
0:53:25	あと、全体に書くべきことを書かないことの
0:53:31	選択があまりいいよくなってわかりにくいということかと思いますがですのでそういった取捨選択も含めて
0:53:40	シナリオを考え直したいと思います。
0:53:44	以上です。
0:53:57	規制庁のだけですので、それでそう変吸収という仮想
0:54:02	いわゆる相対変位の考え方って呼んだんですけど、こっちの補足説明書に書いてあるんですけど、その考え方のコンセプトとフロー図でいろいろ選んでますよね、そういう考え方も踏まえて、
0:54:15	それを設計の観点で断面算定、どういうふうにそれを反映していくのかっていうのをちょっと説明をちょっとイトウ。
0:54:23	なかなかわかりにくいと思いますんで。
0:54:32	構造同一部とか構造境界でどう考えてるかって話があって、多分構造ドイツに関してはあまり関係ないんだと思います。今回多分構造境界部
0:54:44	また、地盤急変部という観点で考えていけばいいんだと思うんですよ。
0:55:15	東北電力の橋本です。今ほどの御指摘はちょっと今ですか。
0:55:25	ちょっと説明が足りなかったかもしれないんですが、例えば再ここ構造境界部
0:55:33	協会の
0:55:35	もう協会の
0:55:37	境界部を挟んだ両方向のモデルを普通だったら計算するっていうイメージ持ちちゃうと思うんですよ。ただ、ここでやっているのはそうではなくて、変位しやすい。
0:55:49	項のモデルを使って、その変位進んでできた最大応答変位の×二倍にすることによって安全性確かめているといったことが少しわからないと、なぜ区間に、
0:56:02	一時もっと細かく、
0:56:04	区切らないのかとかいう話出てきちゃうじゃないですかってその辺をある程度仕掛けをずっと見せながら説明していただかないとわからないのか、いわゆる保全部位すべての
0:56:15	何百計 300 ページにわたってやつを全部見ると少ないと方針がわからないっていうのはちょっと辛い。
0:56:22	方針する方針ではないと思うんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:25	はい。
0:56:26	やりたいことが何なのかっていうことをメーカーにさせていただく必要がある。
0:56:30	さっきから言ってますけど。
0:56:40	はい、東北電力のハシモトです変位の算出についてもまず基本的な考え方というのをなんていいますかね。
0:56:51	シンプルに示すページがあって、その上で詳細の説明があったほうがいいのかと思います。あと、
0:57:03	ちょっといろいろ細かく説明はさせていただいてるんですが、やっぱりその基本的な
0:57:10	考え方の骨子がちょっとわかりにくいという御指摘かと思いますので、
0:57:17	変位の算出についても少しシナリオを考えたいと思います。
0:57:25	東北電力ベンノです。今いただいたのはこういう設計をしてるんだから、こういう断面がいいんだという
0:57:33	高くなくて、いわゆる先ほどの変形の話を見せて評価文章としてのさしていただくのであれば、普通はこの境界面があったらその強化の一番端と一番8で、この止水ジョイントの
0:57:46	変位量とか出すだからこう普通計算するでしょって普通の人間は思うんだけど、我々はそこも安全側に一番深いところと事業一番相対的に変更するため同士で二倍にしてやっているの、そういう考え方がわからないと、この断面でわからないっていう、今、
0:58:03	御指摘をいただいたというふうに思ったので、そういうふうに理解しましたので、要は我々こういう設計をしているから、そういう観点でこういう方でいいと思いますっていうことをちょっとはっきりまで目的がやってる結論ありきではないんですけど、こういう設計をしてるから。
0:58:20	これでいいんだっていうところがちょっと抜けているっていうのが今の御指摘だと思いましたので、ちょっとハシモトの説明と少し違っていきたくと思いますけど、そういったことをきちんと
0:58:29	各っていうのが必要だということ認識しました。そのようにさせていただきます。
0:59:17	東北電力の橋本です。今ほど
0:59:27	規制庁なのですが、最初に私これ添付書類から今の、すみません先ほどエサキのコメントと関係するんですけども、断面選定とかこの強度計算見ていて、最初に一般部の間に、のところでコウモリ度堤防との境界部のところとか、
0:59:46	あって、マツモト見ていくと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:59:50	岩盤部との境界のところとかは断面に入ってなくて、最終的に盛り度の一般部が重なっているかの断面の方は何かだんだんちょうど境界のところは落ちてしまっていて、この共同計算とか耐震計算とかの見た時にジョイント部をどういうふう
1:00:09	計算するのかなっていうのをこの添付上イメージつかなくてで補足のほうを見たときにそのやり方とか書いてあってですね
1:00:19	上位図書で全くイメージがつかなかったので少し
1:00:25	今の変位の考え方っていうところも、添付の中に少し化の考え方を入れていただいたほうが資料としてわかりやすくなるかなと思います。
1:00:35	結果がいきなり出てきていて、この結果、どんな場面でどう選んでわかっているところがわからなくて最初の
1:00:43	エサキとか、おっしゃったように
1:00:47	直近の境界部の区間のところではじめてこう評価するのかなと思ってたらそうじゃないっていうのがようやく不足見てわかったので、少し考え方を添付のほうにも入れていただきたいと思います。
1:01:04	東北電力の畑村です。
1:01:08	こちらの答えでよろしいでしょうか。
1:01:11	お願いします。
1:01:15	今の御指摘については対応させていただきたいと思いますので、補足のほうに書いてあります相対変位も資料の中身について、少し抜粋したような形で、別途添付のほうに入れ込むことを今後考えたいと思います。以上です。
1:01:39	規制庁の江崎です。
1:01:41	次に言うことは、この断面選定の中にも切れてもいいし、そういうとこに記載するかは、
1:01:49	お任せしますけど、毎回ちょっと懸念してちょっとお話ししたかもしれませんが、例えば
1:01:58	森どう防潮後、
1:02:03	だけど、
1:02:06	調停の岩盤部の方ですか。
1:02:08	鋼管式側壁の岩盤部、それと、
1:02:13	実際の時山のすりつき部。
1:02:16	そうすつとすりつき部の盤面等も起こした上で、そこが、
1:02:23	崩壊して、
1:02:24	津浪の流入、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:27	経路にならないという説明はいただきたいと思ってますこれは層別の資料になるかもしれないですし、
1:02:34	中でうたってもできないこともないかなっていう気はしますんで、この辺はちょっと考えていただいて、
1:02:42	いわゆる積極事案にすりついてるんだけど大体わかってはいるんですけど、そういう斜面崩壊とか、
1:02:50	仮にあったとしても影響ないところまで振りつけてる。
1:02:55	私は思っているんですが、それが明快になった名明快に説明されている資料は、今ちょっとないもんですから、そこはもう工認ですから葬祭設計の段階ですから、それは明確にしていきたいなど。
1:03:09	例えば高浜なんかでも防潮扉っていうのがJRRーさびに取りついているんですが、その斜面の一つとして、また液状化する可能性の
1:03:20	あらゆる地盤だったり送斜面自体が崩壊する。
1:03:24	斜面崩壊する。
1:03:26	起こり得るような事案はだったりしてますんで、地盤改良したりしてるんですね、
1:03:32	ここは多分、
1:03:34	硬質岩盤でそういう必要はないと思うんですが、そういった検討もして、必要だあっていうことで、いわゆる水津波の流入箇所が来防潮で
1:03:45	施しないところが入ってこないっていうあれば説明が必要だと思いますんでその辺は、
1:03:50	うーん。
1:03:51	どこかで説明いただきたいと思います。
1:03:56	はい、東北電力の橋本です。管板部のその杭を支えてる看板そのものと摺り付部のところの地山の崩壊によって津波が流入するおそれがないかという、
1:04:12	2点というふうに承りました。あのえ等といった形で定量的なお示しできるかちょっと検討してお答えしたいと思います。
1:04:23	ちょっと誤解があるといけないんでちょっと
1:04:26	お話しますと、④の資料の39ページ、14-1。
1:04:34	いわゆるその4-1の、ここで、
1:04:37	CCbため、
1:04:39	CCb出したのがCC駄目って言ってるところは、いわゆるここまでは防潮でとして作られていて、それよりも左側図面で言うと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:49	そこがいわゆる駄目よと結果してしまうと水が入ってきちゃうとすると、それは逆も真なりで、この右のほうですね、そこももうすでに何か現地を見させていただいてるんで、相関性はないとは、
1:05:05	雨では見てるんだけど。
1:05:07	基本的には資料としては得られていないので、そうすると種を
1:05:14	審査補助婦ってということになっておりますんでそこはしっかりと説明。
1:05:18	できる資料を提示いただきたいということです。
1:06:28	東北電力の橋本です。
1:06:32	ちょっと先ほどの
1:06:34	回答少し勘違いしたところもありましたけれども
1:06:39	その場所の〇地形と地質状況も踏まえて適切な説明を加えたいと思います。
1:06:51	ですか。
1:06:52	規制庁の杉原です。
1:06:54	私のちょっと感想めいたことになるかもしれないんですけども、
1:07:02	この防潮てのですね、上部工の壁の部分は、
1:07:08	以上で明解なんですけれども、
1:07:11	そういう下の部分がですね、
1:07:18	一番最初のほうに
1:07:20	一般図がありましたけれども、
1:07:25	例えば6-1-1-4 ページ。
1:07:28	ここで
1:07:31	背面補強工、それから改良地盤、
1:07:35	それから、置換コンクリートセメント改良度とこういうふうに
1:07:39	幾つにも分類というか分かれてるんですね、これいろんな経緯があっというふうな形状になっているのんだらうと思うんですけど、通常ですとですね、これはもう少しシンプル。
1:07:56	になってる。
1:07:59	と思うんですよ。自分がもし作るとしたら、もうちょっと違うような形が想像できるんですけども、
1:08:09	で、今回の場合ですね多少は
1:08:14	お聞きしたりして知ってる経緯はあるんですけども、
1:08:19	こういったものがですね、一つの図として現れてきているわけですから、
1:08:25	これ見るとですね。普通、それぞれがどういうふうな役割なんですか。
1:08:31	これはいうふうにちょっと尋ねたくなるわけです。
1:08:39	結果的にはですね、これらが一体となって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:43	津浪の荷重ですとか地震力に対して抵抗していく。
1:08:50	というふうな評価がされるんですけども、
1:08:55	じゃあ、今後の構成する部品に相当するもの同士がですね。
1:09:01	総合的にバラバラに動いたりとかですね、そういうことはないんですかっていうようなことをちょっと気になるんですよ。
1:09:10	だから、普通だと、この部品がそれぞれどういう役割して、それはそれがどういふふうな相互関係にあつて、それが一体的にどういふふうな効果を持つんだつていうんですよ、そういう説明も
1:09:27	本当はあるんじゃないかなと思うんですけど。
1:09:30	ですから、直接的にはですね、例えば、置換コンクリートとそれから改良地盤、
1:09:39	とは一体に動くんですか。
1:09:41	セメント改良度とシカンコンクリートがバラバラにそれぞれないんですかとかですね、そういうふうなことは、
1:09:51	どっかにあるんでしょうか私ちょっと
1:09:56	ちょっとしか見てないんですけど、説明があまりないような気がしてたんですけど。
1:10:03	そういう観点でですね、
1:10:08	駄目全体の検討みたいなものも、
1:10:11	いらぬのかどうかつていうのはそこら辺はちょっとそちら側のねらいと、今後の相互間の動きとか、そういったことで、ちょっと
1:10:22	ひょつとして関連するんじゃないかつていふふうに思うんですが、いかがでしょうか。
1:10:30	はい東北電力の橋本です。まずちょっと前提的な話になってしまうんですが、この部員の役割ということについて設置許可の段階で議論させていただいております、
1:10:48	それを今回の補足のほうの 6.1. 9 一番最後のですね。
1:11:02	の項にちょっと設置許可のときに議論させていただいた内容をあまり変えないような形で載せさせていただいております。
1:11:14	役割につきましては 6.1. 9-3 ページにちょっとこれは表になってますけれども、各役割、
1:11:27	各部位等あと地盤についても、そのといった役割を持つてるかということを整理させていただきました。
1:11:37	荷重状態につきましては例えばですけども、
1:11:42	6.1. 9 の 17 ページとかに津波値、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:49	に初と漂流物荷重が海からかかってその鋼管ぐいを統合に背面補強工が支えてというような主要な活言うということでつけさせていただいて、その上で流れとしては次に各部位に対してどういった損傷が考えられるかという。
1:12:09	後で独占 1.9-24 ページ。ただ、当部位ごとにこの津波防護施設としての機能が果たせなくなどはどういった損傷になるのかということを想定いたしました、
1:12:27	これからそれぞれの部位に対してどういった
1:12:32	状態を保持しなければいけないかと、また、許容限界をどのように定めるかということを決めてきております。あとそれぞれがそのバタバタに動くかということにつきましてはジョイントを定めているところもありますのでそこは
1:12:48	当モデル化のところでも詳細を説明させていただければと思います。あと、ちなみにかどうかですね今の 6.1. 9 の最後のほうになるんですが、
1:12:59	最後から 2 枚目というのが 6.1. 9 の 85 ページに
1:13:08	いわゆる 3.11 地震の後を膨張低を計画するときどのような考えとあとは、審査を経て追加の地盤改良とですね置換コンクリートについても追加で設置することにしたんですけれども、
1:13:28	ちょっとパッチワークといいますか少しいろんな部位が
1:13:34	設置するようになった経緯をここにまとめさせていただいております。
1:13:41	申請時点ではですね
1:13:50	6.1. 9-86 ページの 07 のような形で鋼管ぐいを設置して、そのは力を受け持つために、当部署にコンクリートまあかたい地盤が悪いということで背面補強工設置して、
1:14:08	さらにその背面補強工支えるという目的で改良地盤を設置するような形にしております。改良地盤の下の森度 9 表等を液状化しないにしても揺すり込み沈下等で、
1:14:26	鎮火する恐れがあるということで、より安全性信頼性を高める目的でその下を追加で地盤改良することにしたと合わせて基礎地盤の安定性評価をした際に、その海側に置換コンクリートを CM 級が
1:14:46	今まで命令することで、すべて安全性を確保したというような経緯を説明してございます。
1:14:57	核といいと
1:15:00	設計の経緯については以上です。あと、モデル化についてはまた別途詳細を御説明させていただきたいと思います。
1:15:10	すいませんながらこと経緯を説明することと、ネットでくる話になってしまって申し訳ありません。ご指摘に対しては、要は代表断面の選定にそういった構造が

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	影響しないのかっていうのはわからないという端的にそういう御指摘だと思います。したがって、今橋本が言ったような過去の経緯としてこういうものができていて、
1:15:30	時モデル化上こういうところは一体では考えていなくて、バラバラになってもいいんだから、このそれぞれの性能はこういうふうになってるんだと紐づけがこの断面選定の中にあるという御指摘だと理解いたしましたので、深いところは先ほど橋本が説明したページの法理
1:15:47	補足として飛ばすようにいたします紐づけるようにしますが、断面選定の中にそういった経緯でこういうのはできていて、だから、ここに注目しているんだよっていう、その大きなあらすじですね、それをちょっと加えさせていただいて、誰が見てもそういう
1:16:03	このペーパーとしてクローズしてっていうことをちょっとお示するように工夫させていただきたいと思います。ご指摘ありがとうございました。
1:16:11	スギハラです。了解いたしました。今の御説明と、そういうふうに解釈していただいております。よろしく申し上げます。はい。
1:16:23	規制庁のエサキですけど、ちょっとまだそういった点があるんですが、④の
1:16:29	資料の4ページの図の2-2。
1:16:34	いったときに、
1:16:37	いわゆる受縦断面つたりですから、延長方向断面図で、
1:16:43	このローマ数字のI区間の趣旨と、例えばEってさせてこの位置にある各取水炉
1:16:53	復水炉に関して言ったときに、公衆水道の断面の影響。
1:16:59	いわゆる水の影響ですね、水路がそう。
1:17:04	もたらず影響っていうのはどういうふうに
1:17:08	考えているのか、それはどこで検討されるのかっていうのをちょっと説明いただけますでしょうか。
1:17:14	。
1:17:19	はい、東北電力の橋本です。しゅ水道につきましては、この部分が
1:17:28	万一破壊したりすると、上の改良地盤に
1:17:33	影響が及ぶかもしれないということで、2号の取水塔につきましては頭首推移との説明の中でそのための説明になりますけれども3号の取水塔につきましては、波及影響の中で地震時の健全性について説明ということで整理してございました。以上です。
1:17:57	規制庁の矢崎です。それに検討を考慮していらっしゃるというのはわかったんですが、このところ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:03	その中で、
1:18:05	それを省略できる理由と、今言った話だと思うんですね。
1:18:10	そういったこともしっかり書いていただく補足のほうで書くのか。
1:18:15	当初のほうで書くのかを戻しますけども、
1:18:18	いわゆるその検討項目として考えるものは省略するものはなぜかということは明らかにしといていただきたい。
1:18:26	以上です。
1:18:31	東北電力の橋本です。了解いたしました。
1:19:20	規制庁浮上ですと、私の方から簡単なやつとか、もう水産庁やっちゃいますけど、簡単というか、まずさっきのスギハラの件に絡んでなんですけれども、
1:19:34	何か浸透流あのごめんなさいえっと、
1:19:37	上院等要素が仮に剥離したらすぐ即座降雨水みちになっている水が入ってくるような浸透流解析みたいなのは何か。
1:19:50	実施する話を何か以前お聞きしたいんですけどそれって、この補足の中で何か入っているんですか？決定がちょっと聞かせいただけますか。
1:20:08	東北電力の橋本です。ちょっと私の認識と違っていたら申し訳ないんです
1:20:16	設置許可のときに、いろんなというか
1:20:22	ケースを三つほどやってまして補足の 6.1. 9-36 ページに設置許可のときの検討した結果を
1:20:35	載せさせていただいております
1:20:39	その透水係数が下がった場合でも、何て言いますと津波が来程度間に敷地にまで津波が回り込むようなことはないですよということを検討させていただいてその結果を載せさせていただいておりますと、このあたりのお話でしたでしょうか。
1:21:01	はい規制庁浮上ですねと梁まさにこの件でちょっとさっきスギハラが言った踏ま複合的な構造体であっていろんなジョイント要素が絡んでてとかいうのがあったときに、ちょっと私がかちょっと気にしたのが、要は、例えばですねこの置換コンクリートがすごい岩盤に根入れされてあまり動かない。
1:21:20	一方で進める落下のその鋼管ぐいところが結構何か動いちゃうようなケースって何かそういうケースで代表断面のなかなかもしかしてあるのかどうかちょっとよくわからず、その期間ですけども、ちょっと5日経営そこら辺ちょっとお聞かせください。
1:21:38	東北電力ベンノです。そういった御着いいとご確認が必要だということは設置許可の段階から話が出ていて、今ハシモトが御説明させていただいた通り、基

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	本的にはパスで送信到達で問題がない幅ってところが決まっています。マーケット決まっているというか、この幅があれば、
1:21:58	下から上がってくる圧力もそれから横からのパスも問題ありませんというのを解析的に取っといういて、そこにジョイント要素を入れててもそういう状況が保たれるということも筋道になっていますので、その辺も少しあるですねやはりそういう問題はないということがわからないと。
1:22:16	資料としての代表断面の選び方として、そういうことは必要ないつまり止水性の観点ですね耐津波の設計としてそういうことは考慮しないでいいんだよってというのは一言ちょっときちんと明確にするようにさせていただきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。
1:22:34	規制庁浮上ですと、わかりましたまま走行しがちなものが全部見られるきれてませんのでまた細かいとか見させていただきたいと思ってまして、先ほどちょっとエサキの方から言った主水路とか、或いはその他のオオノから増員とかの関係なんですけども。
1:22:52	私ども一応この代表断面の選定の考え方考え方という資料については、いわゆるその代表性網羅性というようなすべてを網羅して、それらの代表が何かっていうのが適切にすべてのこの過疎で示すことは私たちはちょっと
1:23:09	ここで今まとめてみたいと思っておりますのでその辺だけちょっと御留意いただいたと思うんですね。で、さらにちょっとまあ6日追加すると
1:23:18	例えば現地調査のときにちょっとお伺いしたんですけど、M型ジョイントをつける場所っていうのが、具体的2とその背面補強工の目地の位置ですっていうのはお話があって、
1:23:33	そういう観点も何かこの代表のところきちっと入れていただけたらと思うんですね、SPART置換コンクリートにも道があるのかと思うってわからないんです。そのへんちょっと指摘追記いただけますでしょうか。
1:23:51	はい、東北電力の辨野です。承知いたしました。笑型ウレタンあの現地で御説明いただいたさせていただいた通り、基本的には長杭と長部位の間がたまたまそこに縁が切れるように背面補強面が切っているというそういう構造で一体としては長杭から町民の間が一つの一体構造だ。
1:24:10	その間は、M型っていうあのウレタンだっというをきちんとこちらに書いてですね、その結果そこを選ぶ必要ないんだっというところにわかるように、あとウエキさんから指摘があります通り、あまり書きすぎるとちょっとむちゃくちゃって、ごめんなさい、言葉選んでませんけど。
1:24:25	なってしまう恐れもあるのでその辺はちょっとシンプルに書く部分と、はっきりと詳しく書くその他をちょっとつけさせて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:24:33	対応をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。
1:24:40	はい。
1:24:41	そうですね。わからない。
1:24:49	東北電力の橋本です。先ほども代表断面投影と変位の算定の繋がりのお話 がございましたので、ちょっと構造確認するもの等へん今の資料的にちょっと
1:25:05	全く独立してしまっているの分けて考えるなら分けて考えてその辺の考え方 もちょっと補足させていただきます。以上です。
1:25:40	規制庁浮上です。さっきのジョイントの 1 に関連してちょっと私接近したのが④ の 22 ページとかで、断層交差部つちゆうのがありまして、またおそらくその断 層交差部。
1:25:54	っていうところに道がバチッと入ったら多分あんまり断層の変位ってというのが、 背面補強工とかですね与える影響というのは、て一本程度縦断方向ですね、 ないのかなという思いがあって、今、そういうのも管理はそういった
1:26:12	この断層交差部とその準拠関係的なところにもちょっとそういった形でちょっと 追加。
1:26:18	というので。はい、お願いします。
1:26:23	グッチ、東北電力ペンノでございます。断層が交差部はそういうジョイント的な 影響もあるということも含めてちょっとこれを選んでるってところがございま すので結果的にはもう当初提出させていただいているので、ご覧いただいた 通りほとんど変形収益なフジワラ様がおっしゃってる通り、
1:26:40	背面補強工等でもガチガチに回り固めちゃっているの、そこに大きな変位が 出まへんが出るとちょっと活断層じゃないかという話にちょっと並びになりかね ないので、そこは注意した我々もちょっと検討しておりますので、そこはいけな いってことは結果的には示しているの、
1:26:56	そういったところの紐づく話ですね、そこは先ほど章立てを考慮してちょっと切れ るように、同じことなんだけども、そういった面から見てもここは選ばれて、それ に対してこうでいいんだということがわかるようにちょっと記載させていただきます。
1:28:20	明日、東北電力の辨野です。ちょっと本店側にお伝えするという意味でちょっと 発言をさせていただきます。今ほどちょっとこの資料④の位置付けについて確 認がありまして資料というのはどういう位置付けで今回つけられているのかと いう話ですけども、これについてはちょっと防潮てに限った。
1:28:38	話としての資料になってますので、これ以外にも置く 10 とかですね、ほかにも 代表断面の考え方とかあるのでその辺はどういうふうにするかっていうことは ちょっと整理して、どういう最終的にパッケージにするか、ちょっと別途また御

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	検討を検討させていただきたいと思っておりますので、今回はちょっとそういう意味ではある意味、
1:28:55	ちょっと特殊な扱いというか、
1:28:59	それを60年にするって言う話ではなくて、ごめんなさい、勘違いしてですね、その他の膨張比だとかそういうものもありますので、そういった面で60ちょっとたとえば悪かったですね、対津波構造物に対してどういうふうにするかということをごちょっと別途、
1:29:15	整理して御説明いたします。
1:29:29	ちょっと、じゃあオノ区もね。
1:29:33	高潮ハザードと言っちゃったほうがいいよ、ちょっとケースが
1:29:37	追加ケースがありそうなことはちょっと今日言っとかないといけないなんていうことで、私から一つ、オノからもう一つ厳しいコメント一ついたします。まず私からですけども、
1:29:49	一つですね、
1:29:51	あるのは、この防潮てっていうのはあくまでも液状化。
1:29:57	お金を性を否定できないということで、それを基軸に置いています。いわゆる有効応力解析で靴を共同考慮した解析になっていると。
1:30:07	それに対してそれを基軸にしていて、実際今日説明がある。
1:30:13	①の資料だと思うんですけど、その中身見ると、あとはVsっていうか、いわゆるせん断後戦略を整数値基盤のVsのいわゆる
1:30:25	うん思う平均値から±はσした標準偏差したケースがあってます。
1:30:34	それを考えていったときに、基本的にはここでは多分さっきの課長ヶ月やつから見ると、液状化の可能性は海は特に昔から言ってます。昔で許可の取りかえてましたが、
1:30:47	査定自主の被災事例を踏まえても液状化の可能性は否定できないといったのが東北電力のスタッフとともにまずってそういうことを考えるとこの防潮ては有効応力解析を基軸においてるっていうのは、
1:31:02	おかしくないだろうという
1:31:05	思っているんですけども、そうしたときに、
1:31:08	選考をですね、東海第2柏崎見ていただきますと、
1:31:13	仮に液状化が起きなかった場合、非液状化ケースってのやっていて、そうした場合は、要は不確かさですよ、液状化必ずしも大きさが起きないかは、
1:31:24	スミア
1:31:26	痕跡を全部さらっていったんで、実態はわかんないです。
1:31:31	今解析的には、液状化が繰り入れるだろうという

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:36	検討結果にはなっているものの、ただしそれが液状化しなかった場合、
1:31:42	逆にと施設に対して厳しいのか厳しくないのかって言ったその不確かさは確認している。
1:31:49	それは頭から抵当には強制的に液状化させてるというちょっとかなり、
1:31:56	アタックとしては来過激なケースを設けているんですが、それに対して標準ケース、
1:32:03	また、基本的には液状化強度付けに基づいたものっていう話はして相当よさの強制的な話だから特にとPuの考え方ですけどもそれとは別に液状化しなかった場合のケース、
1:32:17	いわゆる
1:32:19	いうこの解析の
1:32:22	中で、いわゆるラックを立てて層液状化させないという認識をされて計算してるんだっていう説明がありました。これはかさだけは一緒です。
1:32:32	これで総合ケースバイケースで、東海第2の中では特殊だったのかもしれませんが、
1:32:40	川白液晶か。
1:32:42	の
1:32:43	ケースが厳しいのではなくて非液状化ケースのほうが、特に杭なんかで言うと厳しい機器で応力が出来てそこでプロポーションが決まったとかですね、そういった経緯もございましたのでそういうことも踏まえていくと必ずしも液状化。
1:32:59	が起きるとは限らないので、そうした場合にはそういった不確かさとして考えていく必要があるだろうということで、多分活動期は同じようになっていますから、そこは基本的にダクトケース溶岩でありまして
1:33:13	ことよりは、非液状化させたほうが厳しいっていう方が多かったんですけど、あまり非液状係数が決まらなかったと思いますけども、今度は女川に関してはどうかちょっとわからないところなので、これはやっぱり先行の実績を踏まえたときに、
1:33:30	加える。一つはあるだろうとは思っていますが、いかがでしょうか。
1:33:37	わかりました。ちょっときちんと検討してご回答申し上げます。
1:33:47	規制庁の畑です。ちょっとですね、今の前部だけであって、これから大切なことを申し上げ、
1:33:56	ここで悩ましいのはですね、
1:33:59	防潮てに関しては、おかしくないんですけど、今後、液状化ケースお気づきに置いている一方で、僕が16構造物は非液状化ケースを基軸に置こうとしている、その矛盾を感じ得ない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:15	ことがない、いわゆる矛盾したように見えるでも実装遠くの根本はそうではないんだけど、どこをどのように、矛盾を感じないようにセールスかが非常に大事だと私は私は思っています。
1:34:28	いわゆる
1:34:29	なぜゆえにそれを同じサイトの中で切り分けであるのかそれも土の中に入っているのがなぜそんなに切り分けられるのかっていうのが、だれを見たでも誰が聞いても見てもですね、それはそうだろうおかしくないなんていうような論理構築は必要だと思います。
1:34:45	ここは早期キーポイントになってまして、
1:34:49	いわゆる
1:34:51	防潮てだから、
1:34:53	いわゆるか報告は重要構造物だっていう
1:34:57	区分けっていうのは非常にわかりにくいところがなぜゆえにそれを分けられるのか。
1:35:02	っていうことですね。だからその辺をですね、これとまず整理していかないと、今最初に言った話もですね。
1:35:11	おかしな話になっちゃうんで大変遠いみたいですね、きつくやったら遠くなってしまう。
1:35:16	いわゆる気にしてるのは、どちらもやればいいというコール解析も、
1:35:21	解析持っても、土義務はどっちでやるんですけど、全応力でやるんですか有効応力であるとどっちが厳しいんですかっていう議論に話が転じると、
1:35:31	ケースが売買増えちゃう。
1:35:33	あまりやたらめったら計算するっていうのは、設計としても、効率性書きますんでそこは、
1:35:41	どう考えるべきなのか。
1:35:43	ていうのは一つですね、東北電力としての見解を整理していただきたいと思ってます。
1:35:52	はい、すいません。
1:35:54	東北電力イトウですけど、大丈夫ですかね。
1:35:57	です。
1:36:02	苦渋の考えの前にまずずっともうちょっと夜今ほどの資料⑤、
1:36:12	もう結構を見ていただきたいんですけども、
1:36:17	もう里道の部分については、過剰間隙水圧比が 95%いってなくてですね、
1:36:25	結果論としては非常にコスト的には影響液状化パラメータを設定したとしても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:32	旧表土が液状化しますけども里道液状化しないという結果になっております。後程というか、今度ヒアリングのときにお示ししますけれども屋上につきましても、周りは盛堂の部分につきましては基本的には基準化してないという評価になっております。
1:36:51	それを踏まえておく10では蒸留解析をベースにやっているんですけども、前回のヒアリングでも言われましたけれども
1:37:03	有効液量コアによる影響をどう考えるんだっていうところもコメントされておりますので、目次の中です
1:37:13	保安の地盤の今日の剛性を下げたときに厳しくなるような係数があると、さらに液状化によって、ほう素が下がってもっと厳しくなる可能性もあり得るので。その場合については、
1:37:29	どういう方向で次元なのか二次元のFLIPをやるのかってのは今検討中ですが、液状化する可能性についても検討するということを今、まだちょっと議論ちゅうなんですけれども、考えております。
1:37:45	以上です。
1:37:47	規制庁の矢崎です。
1:37:49	いわゆるですね、全応力を基軸にするのか、液状化ではなくて、有効応力解析補器逐次するか。
1:37:57	って議論になってきますので、その辺はちょっと考えて市街市内でもう少しシンプルなものの考え方、例えば、もともと3.1といった時にですね。
1:38:09	例えば、まだ
1:38:12	⑤の補助間隙水圧がわかりやすいですけど、いわゆる海側のほうは経企庁可能性は否定できないという資料は許可で検討されて出してるわけですよ。ね今回またそれを精査して、
1:38:26	その液状化強度特性の妥当性とかそういった説明をしますということは宣言されています。そういうことで考えていけば、基本的には、
1:38:35	防潮ていうと、海側が全部流れ出しちゃったと。
1:38:39	乾燥します。そうすると、この防潮てっていうのは、置換コンクリートが噴火はないと、海側に、
1:38:48	狂っちゃうわけですよ。そういう事が考えると、
1:38:52	いわゆる流動化の可能性を否定できないのであればやはり有効応力解析をせざるを得ないだろうと。一方で、
1:39:00	岩盤中のトンネルなんていうのは、基本的には周りが液状化するような
1:39:06	物性値があるわけだけど、統一があるわけですよ、岩盤ですから、そんなものは基本的に言えば、有効解析である必然性が全くない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:16	そういったような観点で、ほかのところを整理していると思うんで、特にもそうだと思うんですね、討議も岩盤中のトンネルとかありますかそれに対して、
1:39:25	同じようなところさとかやってるわけではないので必要ないですから、普通のことには必要ないんで、そういうことから考えて、そういうコンセプトをしっかりと整理すればいいんじゃないかと思います。逆にですね細かい計算の結果の整理論からすると。
1:39:41	はっきり言うと、データが多くて、じゃあその科学的な根拠は何なのかっていう話から入っていきなさいいけないんで、そうすると方針であるんかから図かなり細かい話。
1:39:52	妥当性まで確認しなさいいけない細かい話になると、かなり難しい話になるんじゃないかと思いますのでその辺はちょっとよく考えてですね整理いただきたいと思います。
1:40:13	統合にくい等です。
1:40:16	ウエキさんの
1:40:19	イトウは送りました。ちょっと整理の方法が思いつかなくて、しばらく悩みそうですけど、検討してみます。以上です。
1:40:28	ポール東北電力で頑張ってください。以上です。
1:40:38	東北電力の斎藤ですけども、今の奥 10 に関してちょっと今悩んでるっていう話に関しての岩盤部っていうのは基本的にいくつか
1:40:53	苦渋の施設あるんですけども、
1:40:55	ちょっと気にほとんどが大体盛堂の中にあるもので排気ダクトの一部岩盤部に入ってますけども、それ以外が盛堂の中にあって、その中でも地盤改良を真似しているものとしらないものに分かれていると。
1:41:10	異常なおつきなあのかくりになっております。そん中で、今どういうふうなその液状化の影響を除外できる施設なのかどうかということに関してちょっと整理させていただきたいというふうに思います。よろしく申し上げます。以上です。
1:41:28	規制庁の江崎です。活用先で審査した結果でこういう話がありました。
1:41:34	あそこも出て水路の速報は地盤改良してます。
1:41:39	一方でそうやってこれは液状化によるあそこは人が行く消化してしまいますんで、これは一つはしませんけども、だけど、
1:41:48	噴霧影響がないように、人は基本的に地盤改良してるんですが、どうしてもジョイントそういうので。
1:41:57	課長間隙水圧は、
1:41:59	入ってきて、
1:42:01	します。そうすると、もともとあそこでは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:06	水用が液状化による浮上がりを御防止するために言ったんだけど、
1:42:13	課長簡潔さ入ってきてしまうと、なので、基本的に加えの検討では課長関係を有効に解析FLIPの出た課長間隙水圧状況スギハラ間に出てきてですね、それを反映して、浮き上がりの判定をしましたっていう経緯がありますので、
1:42:32	多分ですね、地盤改良があるから、
1:42:37	生後6でいい。
1:42:39	とは必ずしもならないケースもあり得るので、その辺はよくですね。
1:42:44	設計的に効率性をもってですね、説明できる範囲でちゃんとストーリーを組んでいただきたいと思います。以上です。
1:42:58	東北電力の斎藤でございます。承知いたしました。ちょっと考えて作りたいと思います。以上です。
1:44:34	はい。規制庁フジワラです。ちょっと一旦球菌時間ぐらいたちますので、一旦休憩を挟みますと開始時刻は、急いで4時半ぐらいにしましょうか。はい。
1:44:48	休憩です。
1:44:52	しました。
1:44:56	規制庁フジワラです。ヒアリングのほうを再開したいと思います。まず規制庁側のほうがちょっと1点だけちょっと、まず先ほどの続きを
1:45:05	質疑したいと思います。
1:45:10	規制庁の小野です。私の方から先ほどの続きでちょっと1点確認したいことがございます。
1:45:18	まず設置許可値に解釈別記3の裏返し0.パッチに津浪防護施設と浸水防止設備については、
1:45:28	耐津波設計上の十分な裕度を含めるため、各施設設備の機能損傷モードに対応した荷重で(ハ)な浸水高とかとか、あれですね早く発とかについて入力津波から十分な余裕を考慮して設定すると宣言していました。
1:45:46	今回公認では基本方針のあれですね荷重組み合わせのところの津波荷重で各設備の設置位置における津浪の発見の形態から初及び制水圧を津波荷重として設定しますと、
1:46:03	津波による荷重の設定にあたっては各施設設備の機能損傷モードに対応した荷重の算定過程に介入する不確かさを考慮し、余裕の程度を検討した上で安全側の設定を行うと今回記載しています。
1:46:19	きになっていると接点としては、各施設とかその設備に当たって津波荷重にどのように誘導設けているのかって言うのがわからなくて、例えば入力津波な対応をそのまま使っているものも強度計算とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:36	Report障壁とこないだ見させていただいたんですけども、ちょっと
1:46:41	そ裕度を振っていないように見えるものがあると先行プラントですと、例えばその入力津波に高潮の
1:46:49	推移をスペースしたりとかあと少し水用ですね切りのいいところまで上げたりとか天端とかそういったところに上げたりして今回その強度計算とか津波の荷重を設定。
1:47:02	していると思うんですけども、その女川で施設核施設、施設ごとにどういうふうに津波荷重の裕度を考えているのかっていったところを今後、
1:47:14	津浪の檜山の各施設になるのかそれとも津波の全体の費用になるのかわからないんですけども少し説明をしていただきたいと思っております。
1:47:30	はい、東北電力の橋本です。
1:47:33	設置許可並びに
1:47:38	設置許可基準規則の別記ですか。荷重のほうに余裕を見るという記載について実際には評価であったり解析のときに、余裕見ているところもあるんですけどもそういったところをちょっとその整合するように記載してなかったところがありまして申し訳ございませんでした。
1:47:59	そのような余裕見ていってかかっていうのは施設によって違うところがありますけれども基本的なところは対津波の中で説明させていただきたいと思っておりますので、という荷重として余裕見てるかというところを整理してお答えしたいと思います。
1:48:22	規制庁の小野です。承知いたしましたよろしく申し上げます。
1:48:28	東北電力の上野です。少しだけ補足をいたします。先ほど橋本が申しあげました通り、女川の場合は他社さんと違って、
1:48:38	違う点として非常にもともとの津波水位っていうのが高くなっているんで、それにかかる例えば1割見ますとかいうと、なかなか設計的にももちろんにはなるんですけども、かなりクライテリア自体がですね、悪影響は余裕が安全裕度が下がったりするっていうことも、
1:48:55	ありますので荷重としてどれぐらいの裕度を持つてかかっていうことがお示できてないというハシモトが申しあげた通りで、
1:49:04	全講座は水位を上げるとか、そういうような話の御説明をされているようなんですけども、人私達は書かせていただいた通り、EPでも考えており、荷重としてどういった余裕を見ているかというのを御説明できるように、今ストーリーを、
1:49:20	構築中ですので、それぞれひもづけですね、それはどうしても防潮平気と防潮では当然構造が違ったり、設計手法が違うので、なかなか綺麗に統一的な日

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	本語で例えば×1倍にし、一見一番しますとかそういうことはちょっとなかなかいえる状態ではないので、そこは高高
1:49:48	すいません。構造物ごとでちょっと考え方を変えているところがありますので、そこは少しちゃんとわかるように横並びというよりは、それぞれでこういうことを考えてますような説明ができるような今資料をですね、作成したいと思っておりますので、そこで御説明させていただきたいと思っております。以上でございます。
1:50:17	規制庁の水垣ですけども。
1:50:19	ちょっと各これを確率確認ですけども、例えば地殻変動、
1:50:26	その3.11メーター下がった。
1:50:29	ていうてこれから起こり得るものも含めて考えたときの部分っていうのはもう入力津波にも入っているものと考えてよろしいでしょうか。わかりました。
1:50:56	ちょっとイメージがつきにくいというようなお話だと思うので、一つ例としてですね、あくまでこれリアルだって話ではなくて、例えば動的解析をやったときに、加速度分布が
1:51:11	こういうような上のほうが早く停止したのが遅いついていうものに対して当然それを区間ごとで我々こうリアルにそのままかけるわけではなくて、負荷ごとに小段上にかけてたりしてそこに幅を持たして、ある程度余裕をもってかけたり、或いは極端に言うとも、
1:51:27	こうなってるんだけども最大で全部ボンと引いちゃって、その最大震度をかけたりっていうそういう設計方法を採用して、そういった面での溶融っていうのが考慮した荷重のかけ方をしているっていうのは全然ちょっと今回の資料にも書いてないし、テンプレにもその辺が読み取れないので、
1:51:44	そういったことがあるということで、機器一つ一つこういうところに余裕を見ますということをご説明したいというのが今私が発言させていただいている趣旨でございます。すいません。以上です。
1:52:07	申し訳ございません。今ちょっと重畳がどうしても一番厳しい状況になっているのでそういった面で重畳時のときには同時になるかというので今、地震加速度の話をご説明させていただきましたので、水そのものというよりはそれらを含めて、荷重としてどういうふうに余裕見ているかっていうところ。
1:52:23	きちんとご理解いただく必要があると思っております。
1:52:40	規制庁の小野です。全体の荷重が地震も組み合わせた全体の荷重の話をしているのかなと思って今私は感じたんですけども、
1:52:51	基本方針改訂の津波荷重のところ、それは津波荷重の算定過程に介在する不確かさを考慮して書いてあるので、その津波荷重にどういう裕度を設けているかっていったところがちょっと私は今気にしております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:10	確かに全体の荷重としては保守性をすぐに持たせているのかもしれないんですけども、津波荷重そのものにどう誘導降っているのかっていったところを御説明していただきたいと思います。
1:53:26	はい、東北電力の辨野です。すいませんそうですねあの津波水位に関する条文の話なので、わかりました津波水位としてどういう余裕を見ているか、それは用地を重畳時でどうしているのか、或いは津浪でどうしてるのかという考え方ですね。
1:53:44	そういった津波の水位という点に着目して御説明するようにいたします。申し訳ございません。
1:54:00	はい。
1:54:10	もう
1:54:12	規制庁の江崎です。不確かさっていうのは、ほかのサイトでも申し上げてるんですけど。
1:54:19	津浪値っていう割り切り方じゃなくて津波の中の2番に対する不確かさ、それによってはさらに別の不確かさを加算していかなきゃいけないので、そういったことも明確にした上でやっていかないと多分、
1:54:33	ふうん発送うとですね、整理が破産発散してしまうと思うんで、それを十分踏まえてですね整理いただきたいと思います。
1:54:49	東北電力ベンノです。承知いたしました。
1:56:36	東北電力ベンノでございます。専攻の状況について、今ご示唆いただいた通り、他サイトさんは一律掛けをしていきたいとか、ハザードを見た水位に対して水位として幾つ仕掛けてるっていうような状況であるということは、こちらも確認をさせていただいておりますけども、
1:56:54	ちょっとそういうモニター貯水少し変わってくるなというふうながありまして、先ほどからハシモも私も申し上げている通り、荷重としてどういう考え方で余裕を見ているのかというふうに一律額の推移でちょっと御説明をするような状況がちょっとないもんですから、
1:57:10	その辺は不確かさを踏まえてこういう水位とですね、その推定津波時の水位に対する不確かさを荷重としてどうやってみてるかっていうふうな介護保険で整理して御説明するようにいたします。
1:57:27	私がさっき申し上げた名に対する不確かさっていうのがあるんですよ。例えば添7.9という。
1:57:35	そうで6000m高さですね。それは一律傍聴に当てはめると、それは、ある一部の箇所に出ているものが、基本的には全体に整理をすると、ただしそれっていうのは何ですかしか差っていうと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:50	津波の総数部分の不確かさですよねその襲来方向とかその伝播
1:57:56	っていうそのシミュレーション解析増やそう条件に伴う不確かさ言っているはずなので、そこで別にそういうなんていうんですかね。
1:58:06	もともとある潮位の
1:58:09	不確かさというのは別の話だと思います。ただそういったことでやっぱり切り分けていかないと議論がかみ合わなくなってくると思うんでその辺は十分ですね。
1:58:20	どう考えるべきかってのは、
1:58:22	整理した上で、
1:58:24	説明いただきたいなと思います。だから、
1:58:27	全部これだけ見ているからいいでしょうっていう話がよっぽど
1:58:31	宣伝みたいですね、かなり極端二倍ぐらいですと 1.5 倍ぐらい。
1:58:37	例挙げてるわけですねそこはね、基本的には、実際には 1 メーター未満の浸水深があんだけど、実際は、
1:58:47	傍聴程度。
1:58:49	もう一番天端まで津波が来たとしても大丈夫だっていう設計していて、多分 1.5 倍から二倍以上だったと記憶あるんですがはっきりした数字を覚えてませんけども、そういった
1:59:01	上げ方をしているということなんですけどそれはざっくばらんにあげちゃってますから、
1:59:07	うん。
1:59:08	固縛に挙げてるっていうことで、そういったいろんなものが
1:59:12	細かい話が入ってくるとしたら、
1:59:16	いや、実はそこでは、過去発生起こりにくいですが、例えば
1:59:23	海水の密度が大きかったらとか、そういう話では、そういったものが含まれてくるとは思うんですが、さっき言ったような
1:59:32	津波の伝播特性の不確かさとかですね。
1:59:35	津波の総話とはまた別の話なんで、そういったものはしっかり切り分けて、
1:59:44	今回、
1:59:47	高潮ハザードとかそういう見るべき不確かさに対して、どこでそれが含まれるかっていうのは十分。
1:59:55	分析して分類した上で整理。
1:59:59	して説明いただきたいとそういうことです。
2:00:05	承知いたしました。東北電力ペンノでございます。本店側でこの場で今確認しておきたいことがあったら、お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:23	電力のタムラです本店から特にございません。以上です。
2:00:34	はい。規制庁フジワラです。私のほうから1点だけなんですけど、一応この件は条文の適合という観点で結構見合いといけないので、条文に適合してるつつうことはやはり見させていただいて、
2:00:50	期待と思います。私の会場ですので、じゃあ、引き続き説明のほうですね、今日の④の資料で、残りの施設の説明の方とそれぞれ
2:01:04	お願いします。
2:01:07	はい。
2:01:08	はい。特に行う予定です。
2:01:12	それではイトウつっていいの御説明させていただきますと、それについてもちょっと鋼管式鉛直域の位置岩盤部につきましてご説明させていただきますけれども、まず、この前の防護と御説明させていただきますので、先ほど同様に、ちょっと資料③番。
2:01:30	6.1. 1
2:01:32	この資料を御願いいたします。
2:01:35	6.1 センチの3ページのほうを御願いいたします。
2:01:50	目的として、
2:01:52	はい。
2:01:55	6.1. 1-3 ページ 2. に構造がゆるいということで、こちらの4番の区民2番目のちょっと説明ございます。
2:02:06	その規制いたしませんとまずアノンページ戻っていただきまして、
2:02:12	図 2.1-12 号調停鋼管試験注記の部分ということでバンドが緑で記載されておりますが、大きく岩盤部はさらに細分化しておりまして、ローマ字のうち区間区間3区間ということで、粒間に、
2:02:28	わかっております。
2:02:30	それぞれとこ。
2:02:36	御説明続けてよろしいでしょうか。
2:02:42	規制庁フジワラですね、特にすんなりので説明続けてください。
2:02:48	失礼いたしました。
2:02:50	ちょっと、はい。
2:02:52	人参加と看板の傘下に置かれてございます。それぞれのずっと詳細につきましては、
2:02:58	1.1-7 ページ。
2:03:00	この図 2.2-3 でご説明します。
2:03:05	このページ事務とずっと見て 23、国庫にご覧いただきますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:11	1 区間が左側か右側にございます。1 区間につきましては、鋼管ぐい構成者数に復帰漂流物六戸と背面補強工、
2:03:21	から成る構造物でしてこちらの一般部から続いて、
2:03:25	いる工事になります。
2:03:28	右側にかかんにつきましては、1 区間、
2:03:31	これは別途配付恐慌がないような形の構造になってございます。
2:03:36	国が直接は無理でされている口座になります。
2:03:39	8 ページにここ 3 の図に 3 区間ございまして、3 区間を母線の鋼管ぐい、RCC の者数m付近
2:03:50	コンクリート構造物があるって一体となっています。
2:03:54	構造物がありまして、こちらが一番南側無GMとの擦りつきの区間であります。
2:04:04	構造、
2:04:05	それ以外につきましては、
2:04:08	以上にしていると。
2:04:10	9 ページ 10 ページの 1 ページに先ほどの一般部同様、
2:04:14	評価項目のほうに記載してございます。
2:04:19	続きましてこちら耐震計算書のデータ強度計算書のほうで御説明いたしますと資料の 6.1-2。
2:04:28	6.1. 2 と強度計算書に関する補足説明をお願いいたします。
2:04:35	こちらの 8 ページをお願いいたします。
2:04:44	8 ページに 2.3 評価方針ということで、基本的には一般論と津波重畳時の評価を行うこととしておりまして、てと 9 ページとか 11 ページに評価項目、
2:05:00	評価方法
2:05:01	評価項目協議会等を記載してございます。
2:05:05	ちょっとこちらの岩盤まで一考の一般部と違う部分につきましては、ちょっと 8 ページにもちょっと下から三つ目の段落にございます。
2:05:14	ちょっとこちらのうち、先ほどご説明しました 3 区間に当たりますする岩盤部国庫RC壁につきましては、入力津波高さ 24.4m も高い 26.7 メーター以上の標高に設置されていることを踏まえまして、
2:05:30	ちょっと強度計算における急行対象からは今回 10 倍にしてございます。
2:05:36	こちらがヘッド岩盤部の耐震計算書等の違いになりますと、構造の説明は以上になりますと、続きまして断面選定について、概要のほうで御説明させていただきます。
2:05:48	当資料バネをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:56	トークし、今までの 24 ページ、3 ポツ、防潮で鋼管式鉛直壁の内側が駄目選定の考え方について御説明します。
2:06:07	そう。
2:06:10	駄目選定の流れにつきましては先ほど一般目で御説明した内容と概ね同じような流れになります。
2:06:17	なので簡潔に御説明させていただきます。
2:06:20	イトウ
2:06:22	こちらでも一般の道路の図 3-1 から 3-5 までにある程度のスパンで区切った断面図、
2:06:28	それぞれの区間における断面図のほうを記載してございます。で、そちらの断面図から減ってるよ 67 ページと 28 ページに、区間ごとの特徴整理ということで、1 区間と三木区間倒産区間の構造的特徴、あと周辺状況等を
2:06:46	時開始ございまして、それはまとまった表が 29 ページになります。
2:06:53	30 ページお願いいたします。30 ページで 3.1. 2 ということで評価を行う面の整理になるとなります。
2:07:03	こちらにつきましても、一般のと同じような整理をしてございまして 6 経済にとって厳しくなるような観点を整理してございます。
2:07:13	岩盤面につきましても地下水並びにによる津波の観点からは、案件につきましては対象外としてございます。
2:07:21	岩盤メンツ置けるえと断面選定の整備における観点が 31 ページの表 3-2 にお示しております、
2:07:30	その詳細な考え方は 32 ページ、33 ページに記載してございます。
2:07:36	管板部につきましては、主に転換点を選んでおりまして、一つとして置こうかにおいと室長、こちらは名古屋銀行が加速度が大きくなって厳しくなるのではないかと考えているによりますで二つ目のルートT+CL級岩盤が厚さになります。
2:07:54	こちらの 2 点を観点として選定してございまして、
2:07:58	イトウ 34 ページ以降、
2:08:00	次に 3.2。
2:08:02	評価対象断面の選定ということで記載してございますが、この二つの
2:08:07	観点に対してポンドと同様に、図 3 に示す。
2:08:13	地質縦断図から、
2:08:16	厳しくなると。
2:08:18	考える場面を買った会議を行って選定してございます。
2:08:23	選定の経緯については 34 ページ 35 ページにお示しております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:29	これを持ったものが表 3-3-36 ページ、36 ページの表 3-3 の表にまとめて ございます。
2:08:37	当期 1 区間につきましては、
2:08:42	こちら 1 区間に持っておられて、国の突出長同一
2:08:45	あることから、国の聴取観点としてございません。やっぱりキュウリCL級も分 布しておらず、周辺地質状況が同一なので、この鑑定とかにおきましては駄目 位置によって構造物の評価に有意な影響はないと顔つきみなさないと考えて ございます。
2:09:04	その中で今回くらい。
2:09:08	戦略部設備確保調停南側が設置される。
2:09:13	1-①断面ということでだめを選定してございます。
2:09:17	ローマ数字に係るにつきましては、
2:09:20	あと、
2:09:21	杭交換くい落とす長の関係で管理が一番前バックル
2:09:27	②新EAL分岐プラスして教壇真夏だということで、こちら、
2:09:35	34 ページの 3.2-2 に係るの示してございますが、
2:09:39	29+Cと岩盤面では地盤中に発生する地盤変位が小さいので、加速度応答の 観点の考えると、いけプラスシール均圧最も水位断面のほうが加速度が大き くなると考えて、累計し得る系は分布しない断面ということで、
2:09:58	ちょっとこの 1 と 2 を勝田の総合的に考えて、
2:10:02	①断面ということでそうと。
2:10:06	選定してございます。
2:10:08	そのぼんと 3 区間につきましては、日本の効果においてある審査請求が一体 となることなので、こちらにつきましては一体構造として評価し、
2:10:17	そういうこととして、こちら断面として、
2:10:20	選定してございますが、こちらについても、ちょっと計算書と紐づけはちょっと 悪くて大変申し訳ございませんが、1 款の 1 の①が計算書といいます断面⑤ も①番、断面⑥、恵山区間が断面⑦になります。
2:10:39	当岩盤での
2:10:41	こうずっと断面選定までは御説明以上になります。
2:10:49	入ると規制庁浮上ですじゃあ、一旦ここで区切りということでこれに岩盤に関す る質疑応答に入りたいと思います。
2:11:07	規制庁の小野です。
2:11:11	④番の資料で 28 ページなんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:18	3区間のところの一番構造的特徴の地表面高さが大きい25.7って書いてあって、
2:11:28	これと補足56.1-2-8ですと26.7って書いてあるんですけどこれどっちが正しいですか。
2:11:49	はい。東北電力イワダテです。こちらにつきましては別途ぴんと水位16.7が正しいとちょっと今考えているのですが、再度確認させていただきます。
2:12:04	水
2:12:05	資料④-21ページが5%の5km程度ちょっと適正化させていただきたいと思っております。以上です。
2:12:12	はい、お願いします。
2:12:25	はい規制庁浮上ですねと、この施設に関してはこちらの方から質疑は以上で、次の森で斜面部のほうで説明のほうをお願いします。
2:12:39	特になくなるです。
2:12:42	続きましてもう調停森の底部について御説明させていただきます。
2:12:47	耐震計算書の補足説明のベースに説明させていただきますので、6.1の③-6.1.3。
2:12:56	こうやってご覧いただきたいとお願いします。
2:13:05	6.1.3の資料5のページに、
2:13:10	2、
2:13:12	2.11ということで、この程度の範囲が図2.1-1に示してございますが、どの程度につきましては、イトウもちょっと指摘敷地の北側に
2:13:23	このインターの位置しております、ずれてまうで示した範囲になります。
2:13:28	3ページお願いします。
2:13:30	3ページにミーティング構造概要ということで、
2:13:35	2.2のうちにある程度の構造図をお示してございます。
2:13:41	宇宙てるテーマにつきましても、天端高さは29mとしてございまして、
2:13:49	改良地盤の上に設置されたセメント固化停滞基礎地盤の滑り安定性を確保する観点から設置する置換コンクリート、
2:13:59	で構成してございます。先ほど一般目の質疑坂のさせていただいている際に、
2:14:07	取れましたけれども、同じ補足説明資料の6.1.0
2:14:13	も、
2:14:14	8ページ以降に見えて棒の北部の役割ですとか性能目標を参考に記載してございます。
2:14:25	4ページをお願いします。
2:14:32	2ページをちょっと評価方針になりますけども調停根室底部につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:14:37	5 ページの表 2.3-1 に評価項目載せてございますが、
2:14:43	施設地盤が健全性評価
2:14:45	またあと基礎地盤の申請の評価を行います。でも予定につきましては、
2:14:51	セメント会社が一体となっている工場ですので、都市性状といったものであるような
2:14:58	止水ジョイントを設けないことになってございます。
2:15:06	続きましていると強度計算書記載ご説明しますけど、6.1. 4 の資料、
2:15:13	お願いします。
2:15:15	6.1. 4 がある程度防潮テーブル底部の強度計算書に関する補足説明になります。
2:15:25	。
2:15:28	評価方針につきましては、4 ページ 2.3 に示してございまして、こちらの 3 段落目でございますが、堤防の強度評価につきましては、一般部、岩盤部同様ですが、津波、
2:15:41	橋梁部へと津波時の評価と、あと重畳時の評価を行うこととしておりまして、
2:15:48	同じ一系といったし、地震時と同じく施設地盤の健全性評価と地盤の申請の評価を行うこととしてございます。
2:15:58	ポイド堤防の構造と当期基本Cまでの御説明につきましては以上になります。続きまして、評価断面の選定について説明させていただきますので、白丸をお願いいたします。
2:16:14	資料になる。
2:16:15	でも 38 ページ。
2:16:19	お願いいたします。
2:16:23	38 ページに 4 ポツが防潮で見えても駄目選定の考え方。
2:16:29	になりますと、このテーマにつきましても、これまで御説明したような流れと同じ
2:16:35	で書いてございます。
2:16:38	4-1 から 4 の小此木。
2:16:41	法定向け堤防をある程度のスパンで切った断面図並びにそれらの位置を示した変状縦覧ず、
2:16:50	ほぼ示しております。
2:16:54	41 ページをお願いします。
2:16:56	NN値ページ 4.1 評価コードの整理、
2:17:01	…痛感特徴整備ですが、
2:17:04	ちょっと無理だと言えはにつきましては、これまで一般の断面につきましては、構造的な特徴から 1 区間ですとか 1 区間、区間 1 区間解散区間までなど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:15	6 款
2:17:18	決定とか、
2:17:21	ご決定おりましたが、その底部につきましては、節理区間で大きな違いはないことも踏まえて、
2:17:28	あともう一つとして整理してございます。
2:17:32	その特性につきましては 41 ページ、(1)1 区間以降に記載してございます。
2:17:38	そしてそれをまとめた表が 42 ページの表の 1 にお示しております。
2:17:46	43 ページの 4.1 からが 4 点っている方向断面の整理になりますので堤防につきましても、東京ベンノ君子示する通り複数のウエキで構成されるので、それぞれの部位で。
2:18:01	耐震耐津波評価上厳しくなると想定される断面を選定しますので、それらの観点を別途整理してございます。それらの整理結果につきましては、表でまとめたものが 44 ページの表に
2:18:17	ございまして、それらを導くために与党考え方を書いたものが 45 ページから 46 ページ。
2:18:26	でもあります。
2:18:28	ドイのテーマにつきましては、大きく地質上の観点から四つ、
2:18:34	観点を選定しておりまして、一つ目が岩盤上限の深さ、これがちょっとセメント改良どの厚さになります。
2:18:42	二つ目がCM級岩盤上部の深さ
2:18:46	こちらが地コンクリートの厚さに提供します、三つ目が増えます経費オノ厚さで四つ目が旧表土の厚さ、
2:18:54	この四つの地質的な観点があると耐震耐津波評価上、
2:19:00	選挙する観点として選びましてこれらの観点を踏まえて 47 ページの 4.2 と評価対象断面の選定ということを行っております。
2:19:12	42 ページにもちょっと強化対象断面の選定におきまして、こちらも一般の岩盤部と同様に、
2:19:19	縦断方向の地質図に基づいて、先ほど御説明した四つの観点から厳しくなる。
2:19:27	ちょっと想定され所をすべからく断面として拾っておりまして、その結果とその考え方が 47 ページにお示しておりまして、結果としては 48 ページの表 5-3 にお示してございます。
2:19:45	日程もにつきましては、結果として 1 断面になってございまして、丸一絡まるような観点すべてにおいてちょっと今選びました 1-1①断面というものが厳しいと考えられるため、この 1 断面を代表断面として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:03	選定してございますので、こちらにつきましては、号炉堤防の計算書における 旦那①と同じになりまして、
2:20:13	また
2:20:15	設置許可のときに基礎地盤の安定性評価並びに構造物
2:20:19	この成立性評価を行いました、これは低として示した断面と同一のものになり ます。
2:20:26	主に予定通りの断面選定っていう
2:20:29	構造の概要となったため選定の御説明、以上であります。
2:20:35	はい、規制庁浮上ですじゃあ質疑応答に入りたいと思います。
2:20:42	規制庁のです。4番の資料の39ページなんですけれども、
2:20:50	セメント改良どう守りの堤防のセメント改良と上部のところですね、がって左側 に空白の特に何も無い。
2:21:01	豆腐みたいな子がいるんですけれども、こいつ自体は確かもうリード堤防じゃ なかったと思うんですけどものはセメント改良でしたっけ。
2:21:14	特に火線凡例の中だと何も表せ朝晩砂岩になるのかな。
2:21:25	入っていると電力のイワダテです。
2:21:29	39ページの図4-3のセメント改良の左側ジュースをPGA3.8の無限上部に あるものを指していると理解しましたので、そちらについて、
2:21:42	ですが、こちらにつきましては
2:21:45	今んと選定処理可能。
2:21:49	9倍3組合跡地になりまして、イトウとして、セメント改良で
2:21:57	なります。
2:21:59	ですので、ちょっと片理これそのまま関連にします飛ばさ外務読み取れるとい う記載になってしまっておりましたので、記載のほうは適正化させていただき たいと思っています。
2:22:12	以上です。規制庁ので承知いたしました。
2:22:18	セメント改良銅のその白い部分ってこれは解析モデルだと、特に何も取り扱 いはなくていないものとして見ているんですか。
2:22:30	ちょっと確認含められてですねと解析モデル等につきましては、詳細ちょっと次 回ヒアリングで御説明させていただきますが、この部分につきましては、ちょ っと保留としてモデル化して解析を実施しております。以上です。規制庁の承知 いたしました。ありがとうございます。
2:22:57	Ⅱ、今の御説明でちょっと確認なんですけど。
2:23:01	要するにここは
2:23:03	森の上にセメント改良が載ってるっていう、そういう構造ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:12	背景東北電力並べてですけど、ミウラさんのおっしゃった通りで、強いてえ等を人間にセメント改良とかといったような構造になります。
2:23:21	以上です。
2:23:24	わかりました。
2:23:34	規制庁なのですが、ごめんなさい、しつこくしつこくて申し訳ないんですけども、39 ページのお豆腐君は解析モデル上なんかとか、
2:23:47	ずっとなんかすいません間の補足とか見ていると。
2:23:51	例えば 6-1-4-42 ページとかでないんですけど、これは本当に盛り度として取り扱ってるんでしょうか。
2:24:08	はい、東北電力のイワダテです。
2:24:11	一つ目、それちょっと詳細になりますので御説明させていただきますと、6 ページ添 4-津波時に、
2:24:21	強度計算書でして津波時の評価になります。
2:24:25	津浪の評価のときは、
2:24:29	検討地震決汀線という等、きちんと
2:24:33	沈下を考慮する必要があると考えましたと考えて時前面の大飯ですとか、あと背面のところも午後出る方としては見ないような状況で計算をしておりますので、6.1. 4-42 ページ。
2:24:50	をご覧くださいますと、モデル化としてはなくなっているのになります。一方と 6.1. 3 の耐震計算書、
2:25:01	そんな
2:25:04	35 ページに受けていただきますと、
2:25:07	ちょっと、
2:25:09	はい。
2:25:10	うん。
2:25:12	35 ページでいうと解析モデルでございまして、
2:25:17	こちらベルトボイドとして反映しているような形になります。
2:25:22	どうぞ。
2:25:52	東北電力のハシモトでちょっとわかりにくいところもありますので、少し整理して回答したいと思います。
2:26:01	規制庁の鈴木です。そう省略するとか、
2:26:06	話で同期なに対して保守的なのかということをおっしゃって説明しないというわからなかったなって思いますんで、その辺をきちっと整理していただいて、設計上の安全性としての配慮が
2:26:21	どういった観点で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:22	配慮されてるのかっていうのかよくわからないとわかりませんのですねをちゃんと説明いただきたいと思います。
2:26:28	ちょっと私からちょっと先ほどちょっとこう考えた話で独り言を言った話なんです
2:26:37	が、
2:26:37	④のページ資料の 40 ページの II-4-4、
2:26:43	で、
2:26:44	セメント改良っていうのは、いわゆるCL級とCへCM級とCL級を
2:26:53	そのような状態になってるところも与えていて、
2:26:56	いわゆる海側のほうの
2:26:59	なんて言うんですかね、車両の、いわゆる道路部のところも一応防潮ではあるんですが、その部分っていうのはかなり薄くなっているところがあって、例えば、
2:27:11	ここはちょっと厳しくなる状況としては海側から山側にセメント改良とか、
2:27:18	に対して荷重がかかる場合、
2:27:21	例えば、
2:27:23	一つの例としては、津波時、
2:27:26	当ばSs時に置いたとしても、左側のものと旧表土が
2:27:32	ある程度
2:27:35	液状化してしまって、
2:27:38	児童動圧的な、要は自動抵抗なものがほぼ陸部の方に送付した場合には、左右交番で入れると、いわゆるここがつかない引っかけりになっているので、それ引っかけりによってしっかり破壊は起きないかとかいう話で起きたとしてそれが、
2:27:57	津波防護機能にどのような影響をもたらすのかっていう説明はないと、このB断面で省略のちょっと
2:28:06	ことができないのかなと。
2:28:08	いわゆる層全体安定から考えると、B断面手当するように見えると思うんですよ、局部としてそう、
2:28:17	セメント改良と
2:28:20	模造対応をどこまで今日するのかという観点で行ったときにどう考えるのか、ここの説明がないと
2:28:28	だめだけでいいとは言いきれないのかなっていう気はしますんで、この辺をですね考え方ため選定の考え方も含めてですね、ちょっと整理いただく必要があるかなと思っています。
2:28:43	はい、東北電力の橋本です。この断面おっしゃったように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:50	そういった少し薄いところがあるためになっておりますので考え方を整理して回答したいと思います。以上です。
2:29:14	既設のエサキですね。
2:29:16	えっとですね。
2:29:18	先ほど、休憩前にあった。
2:29:22	一般部ですね、のところで一つの疑問があったのは、
2:29:27	ちょっと文章の中で全部読み、
2:29:29	切っていないのもあるかもしれません。
2:29:32	そういうところで、もともとですね、許可のときから話があったのは、その断面選定において、超部位のところを設計するのか、処遇だけでいいのかというたぐいに対しては、検討しなくていいのか。
2:29:48	特に、上部に水平活力はないかもしれないんですが即答少なくとも津波時なんかワークなり、
2:29:57	衝突荷重とかハウスとかがここは、
2:30:01	サイト特性によって大きい話ですから、まあ結果見る限りでは、
2:30:06	応力はそうふうによって 70%80%っていう
2:30:10	比率で今日限界に対しての発生値ですね、これで結構多くなって地震値は 40%50%ぐらいという結果になってはいますか。
2:30:21	いわゆる端部 1 頭頂部硫黄を考えたときに、
2:30:26	それぞれ同様に検討するのかなっていうのがちょっとよくわかんなくてただ、
2:30:32	断面 3. のところで見ると、それぞれ長杭類が選ばれているとして読んでいいのか、ここはちょっと
2:30:41	もうどう
2:30:42	負担風速の設計をどうふうにとらえているのか。
2:30:46	それと、負の断面図 3. の中にそれがすべて含まれているのかってちょっと
2:30:52	まだちょっと理解できてないんですが、例えばごめんなさい。④の、例えば 5 ページで、
2:31:00	この図の 2-5-CC 断面は明らかになります。
2:31:06	一方で、6 ページの次の 6BT ため込む欄出ますよね。これらの類が書いてあるので、産業医として設計しするのかなど。
2:31:18	そういうふう読んでいいのか、次の 7 ページの港湾だけ I 断面も選んでるんですがこれも類の断面が会計ので類の設計として、
2:31:29	いわゆる駄目なのか、断面で考えているのかそういった断面ごとに沿ったたぐい職位の検討を一つの時仕事解析から引っ張り出して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:40	ぜひ設計することになるのか、この辺がですね設計の考え方がちょっとわからないので教えてください。
2:31:49	はい東北電力の橋本です。すいません断面選定のところに記載がなくて申し訳ございません。
2:32:00	計算の補足説明資料の参考になってしまうんですが、
2:32:08	鋼管式鉛直へキーの末端のところに3行が二つちよつとついてまして、参考の1になるんですけども、傍聴低の場合
2:32:22	軸方向に
2:32:25	町歩いとった類が連続して表れるような形になっておりまして、酵素あごめんなさい。
2:32:34	1-1-21-3の直前になるんですが、
2:32:54	そうです。
2:33:06	すいません。防潮って鋼管式鉛直へ聞いて頂部イトウ類が連続して隣接するような形になっておりますので、構造解析自体は長ぐEでやらせていただいて、その類の場合にどうかというと、
2:33:22	ところをちよつとこの影響検討という形で
2:33:26	評価しておりまして、従ってその断面選定の段階では頂部以下たぐいかっていう観点で選ばずに、地質的な観点で選んでというのが実態でございましてそれがちよつと多面選定の資料で今わからないようですのであわせて、
2:33:43	ここについては記載を考えたいと思います。以上です。
2:33:50	規制庁矢崎です。
2:33:53	一つ考えられるのは、たぐいの設計っていうのは一応短杭もですね一番延長として違わないところにもなりますんで、それを多分補足説明する資料の影響検討だけで済ませていいのかとちよつと疑問があります主要構造部材があるので、
2:34:11	やり方がどうかではなくて、そういった対応でいいのか。
2:34:15	長杭で全部対応できるのか、例えば命令の部分の部分は類もほど規定にして、長杭でも民でも、
2:34:24	もう、応力集中する場所だとかですね、ねじれ部の
2:34:28	そこだとかその後出てきている応力の分布からして大して変わらないからとか何か理由はある理由がつくんであれば、
2:34:39	杭の特性しとかいったものでなかったできるのであれば、一つの合理的な説明の仕方はあり得るのかもしれませんが、ただし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:49	僕は今の説明だと簡単に評価をしてますっていう株部分的にですね、代表性法定っていうと言われるとちょっと待てよっていうふうになんかちょっと気持ちとしてはなってしまうので、この辺に関してはですね、また別途また
2:35:06	我々としては、考え方を整理した上でまた述べたいと思いますけど、ちょっと今感じだと。
2:35:13	簡単な所説明は省略可能っていうする簡単な説明で済ませるとはちょっと
2:35:20	そう。
2:35:21	問題ではないかなっていう感じがしますけども、
2:35:32	はい、東北電力のハシモトです
2:35:35	今一番鋼管ぐいの照査値が厳しい形になってるんですけどもそれとタグとの関係とかあとそうですねもし補足できる内容がありましたら、ちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。規制庁要求ですけども、いろんな不確かさとかいろんなものを振ったときによく言ってる話は、
2:35:56	基本的にそれはあまり顕著な数字の返答がありませんっていうのが号炉申請者の開拓だっってそう堅調であるかどうかっていう判断はわずかであってもそれは安全性を損なうと思うんであればそれは記載事項でしようということで、ここに記載事項ですね。
2:36:13	ていうことを私は常々コメントさせていただいていただけたということを考えると、この部分の記載と設計っていうのはあまり、省略は難しいのかなと思います。
2:37:02	規制庁風潮ですねと私もちょっとなとエサキと同じ意見で基本的に影響評価というふうにされているものについては、計算書の計算結果に有意な影響がないものについては影響評価っていうのはこれは従前から
2:37:20	そのような形でやらせていただけてますので、これちょっとUenとも明らかに強いただったらちょっと位置付けと考えないといけないなっていうところはありますのでちょっとその辺はまだちょっと整理をやっていただいたほうがいいのかなっていうのはちょっと私もその同様の意見だと思うということを補足いたします。
2:37:42	はい、東北電力のハシモトですちょっと持ち帰り検討させていただきたいと思います。
2:39:15	これ、
2:39:15	東北電力の檀です。今短杭と長杭の扱いが参考資料というか影響検討のレベルでいいのかっていう御指摘に対して、ほかにもいろいろ
2:39:27	影響検討として処理しているものも扱ってるものもございますのでその辺も含めてちょっと整理をどこまできちんとした図書に上げるべきなのか、その先ほど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	いただいた有意な影響がないという面から見た場合、或いは代表性という見た目で。
2:39:46	これが本当に参考資料扱いでいいのか、ちゃんとした当初と床本文系のものか、あわせて整理いたします。
2:40:08	規制庁浮上ですね私のほうを待つと全体通してのもうちょっと話にちょっと今映ってますので、ウランちょっと全体通して話を1回ちょっと9とお聞きしますね、④の資料の5ページとか、ちょっと開いていただいたときに、
2:40:24	一応隻を地下水ちゅうのがここで青線緑色でBT引っ張られてまして、私どもですね今地盤の支持性能のところ、地下水とかいろいろ審査を進めておりますが、基本的に計算等、そう。
2:40:41	計算書、今回出てきた警察ですね、地盤の数字というのはミックスして今後の審査していく必要があるかと思っておりますので、その一環でこの5ページのところですかね、緑色の線の下のほうに解析を5地下水とか、きちっと書いていただいて、
2:40:58	それがどれくらい保守的なのかっていうのを示していただきたいと思っておりますので、いかがでしょうか。
2:41:08	東北電力の橋本です。すいません確認ですが今の解析用解析の地下水というのはその浸透流解析でできた地下水ということでしょうか。
2:41:20	この資料上でも浸透流解析で出てきた水と設計を地下水との関係がわかるようにという趣旨でございますから、わかりました
2:41:32	の審査の流れも踏まえましてちょっとそういった、今の地下水設定がどうかというところがちょっとわかるようなことをちょっと考えたいと思います。以上です。
2:41:48	はい。
2:41:59	あと、嬉野からもう1点だけちょっと質問なんですけど、同じ5ページですね、図の2-4で、この改良地盤の下になんかD級岩盤がありまして、これって液状化をする養いやなんかあまりちょっとそういう、そういう何かあまり聞いていなかったような気がしたんでその辺、
2:42:17	また何かの地盤の支持時にですかね、またお聞かせいただけたらと思います。
2:42:25	はい、東北電力の橋本です。D級ということで強度は低くなっておりますが
2:42:33	液状化するような対象ではとは考えてございませんので、そうですねちょっとどこで説明すべきかも含めて考えたいと思います。
2:42:51	わかりました。ちょっと傍聴での構造のところであわせてその辺がわかるように記載したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:08	特任の規制庁スギハラですが国なんですけど、資料 5 のところですね、
2:43:16	2 ページに過剰間隙水圧比の絵があるんですけども、この断面は、
2:43:26	想定の内側のところに旧表土が存在してる断面なんですね。
2:43:32	それで、
2:43:33	多分海側のほうの利益基準
2:43:40	水圧比の状況からすると、この旧表土の上の
2:43:46	ところをすいません防潮低の内側の旧表土のもうちょっと上のところ辺まで地下水位が来てる。
2:43:58	と思うんですけども。
2:44:00	内側の方については、
2:44:05	森胴部でも全然
2:44:09	過剰間隙水圧比がコンマ 7 まで行かないよっていう、そういう結果なんですねこれね。
2:44:15	で、
2:44:16	海側のほうはこれでかなりそれより上まで過剰間隙水圧比出てるんですけども、
2:44:26	これ
2:44:27	例えばですね、
2:44:31	資料 4 の
2:44:34	5 ページのところ登録ページのところを見たら、
2:44:39	今資料、
2:44:43	5-
2:44:44	ここの水圧分布比は示されているのはどうも、
2:44:51	5 ページじゃなくて 6 ページの
2:44:55	図の 2-6 の
2:44:58	ここがこのモデルになってるような気がするんですけども、
2:45:04	来こっちは、旧表土があるみたいなね。
2:45:08	これ、例えば図の 2-5 の
2:45:14	傍聴を低の内側がもう全部森とだというふうなところ辺は、
2:45:21	どんなふうな感じになるんでしょうか。
2:45:26	はいトークリング窪言わば要するに私言いたいのとそれによって、なんか
2:45:34	断面選定の対象にならないかどうかというそういう観点からの話ですはい。
2:45:39	お願いします。
2:45:49	はい当東北電力の予定ですけど、その中で受けるとコメントいただきました資料⑤-2 ページの図 2-3。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:59	この断面①という断面を使っていて雨が全部門であります、こちらは資料4。
2:46:07	それでいきますと、
2:46:09	資料④-5 ページの図右側の炉心C断面、
2:46:16	系統同じ断面になっておりまして、
2:46:20	イトウ
2:46:21	なので、資料④-5 ページ以前にもご報告ような背面が
2:46:28	当然無理になってるようなものの結果につきましては、こちらの資料⑤、
2:46:34	2 ページ、図 2-3 で代表でとじていただける形になっていると考えております。
2:46:45	町スギハラず、そうするとあれですかね資料⑤-2 ページに出てるやつの傍聴手のうち側でかなり過剰を間隙水圧比が出てる。
2:47:01	1 っていうのは、地下水面よりも、ちょっともうちょっと下で一応整備がされてるとそういうことなんですかね。
2:47:13	東北電力の橋本です。おっしゃる通りで、
2:47:19	資料をここでいきますと、Ⅱ-2-1-2 は同じ断面で、赤いところが出て休校以上になってるところが
2:47:33	旧表土で
2:47:35	地下水面は海側ノート株Dが小さいところで黄色と垣見鳥居になっているところの正面が地下水になっていますので、すべて
2:47:51	すべてのケース、
2:47:53	いいのか、
2:47:57	資料を 03 のですね。
2:48:04	6
2:48:06	耐震ですので 6.1. 1 の
2:48:12	314 ページからもう少し代表的なものを
2:48:19	各
2:48:22	断面について記載してまして、やっぱり
2:48:27	当敷地側の飽和度株Dが大きいことがあって地下水より下であっても盛り度のところは 95%以上になってないという。
2:48:42	ような結果になっております。
2:48:47	以上です。
2:48:50	レイワした。
2:49:14	すみません、次。
2:49:17	生徒スギハラですジョイントの話のところなんですけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:23	増員等ですね下端部、
2:49:27	労使間費用ちょっとどういうふうになったのかちょっとさせていただきますか。
2:49:32	要するに、
2:49:34	シスいいM型ジョイントとそれからシリコンですか、資料のほうがいいんですけど上院M型ジョイントのほうはずっと下端部のほうは、地中まで埋め込まれてるんですか。
2:49:50	そこんとちょっと細かい話ですけどちょっと
2:49:53	お願いします。
2:49:58	すみません、本店で回答できますか。
2:50:14	東北電力の田村です。ちょっとお待ちください。
2:51:49	東北電力の戸村でございます。
2:51:53	ちょっと
2:51:55	説明をする。
2:51:57	探していったのですが、
2:52:03	東播千本の診療
2:52:09	6.1. 6 の順当に相対変位の資料、
2:52:18	本店に運営
2:52:20	止水ジョイント部材の設置イメージを
2:52:23	書いてございまして、
2:52:26	ここの
2:52:29	下のところ、
2:52:35	これはどうなってるという、そういう御質問でよろしかったでしょうか。
2:52:41	その通りです。
2:52:45	電力の田村でございます。基本的には本人補強のところまでを入れる予定でございますので、ちょっとそこをブラインまで命令すればいいのかというのは詳細上詰めている段階でございますね。
2:53:03	少なくとももう少し以上は入れるつもりで検討していることになりますとです。
2:53:14	規制庁のスギハラ図で詳細決まったとか、どうしてそこまで入れた水ができますか。いや、よろしく頼みますはい。
2:54:05	スギハラでいろいろ検討されてるようなんで、また
2:54:12	もう少し煮詰まったら
2:54:16	示してください。
2:54:19	東北電力の辨野でございます。止水性の観点で必要な深さ、それから今いただいたのは耐久性としてですね、メンテナンス上ですね相当総量を踏まえてど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ういうふうに入れるのか、そういう2点等を踏まえて、改めてちょっと御説明をさせていただきます。以上でございます。
2:54:47	東北電力の田村でございます。
2:54:53	今のゴムジョイントどの深さまでというか、どこまで入れるのかという話につきましては、
2:55:01	義務教育出した温度まで、Webジョイント入れるということは基本的に考えてございまして、ゴムジョイントにつきましては、背面補強工の
2:55:14	ブロック会議の画面傾向って反映補強工のせん断メールその目地のところで、
2:55:19	自社製品につける止水ぐらいでございまして、
2:55:25	背面補強工と背面補強工の間に
2:55:29	バスたい等々が入ってございますので、基本的にはそこまで
2:55:38	整理することはあまり考えてございませんが、一方で
2:55:42	エポウ設計上の配慮という形で別のその止水材として、Paを行うというのは考えてございましたので、その辺についての詳細を説明今後させていただきたいと考えてございます。以上です。
2:56:02	東北電力のハシモトず、今の話はお止水ジョイント自体ではなくて背面補強工と背面補強工の間のお話をしていると思うので、ちょっと切り分けて切り分けというか整理して説明したいと思います。
2:56:42	規制庁フジワラです。今日のヒアリングについてはもう時間があると号炉定刻に近づいて参りましたので、1回のヒアリング自宅の今日はここまでとしたいと思います。次回は12月23のほうで引き続き、
2:56:58	良いと思いますので、
2:57:00	要するにさせてこちらの方から特にもう何もありませんが、やっぱり規制庁のエサキですけれども、今回の指摘というよりも、今後の審査の攻防調停の進め方として、
2:57:15	多分ですね、今大体構造の話ということで選定の話はある程度だったんですけど。
2:57:22	やはりそう実際のその解析方法とかその条件っていうのはまだこれからだと思います。デフレに関して我々のほうもですね慎重にもらうときに、
2:57:33	課題がないかどうか指摘があるかどうか。
2:57:37	論点があることをかっただけ見たいと思ってます。特にですね、今日、いろいろ話聞いて、一番
2:57:45	今後やらなきゃいけないのはやっぱり荷重かなと。
2:57:49	特に津波の荷重、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:52	それによって、基本的に程度感というものがよう出てくると思いますんで、それらもですね、一応平衡的にですね、説明いただきたいと。
2:58:02	思っております。それと荷重の組み合わせと許容できたと思いますが、どうい うお止めますんでまずか。
2:58:09	設計条件としてやった解析条件としてのその妥当性っていうのは並行しながら やりつつ、総荷重
2:58:16	そう荷重の組み合わせ型をどう考えていくのかでちょっと他サイトと考えると記 載がある場合、それは妥当であるのかどうか、そこが6基本的にですね、 我々が審査しなきゃいけないところだと思いますので、相当その辺をですねし っかり説明いただきたいと思います。以上です。
2:58:39	東北電力の辨野でございます。
2:58:42	これからいろいろ審査を進めていただく中でも、その荷重の考え方はある意 味、優先的に御説明できるように、町スケジューリングも含めてですね、資料 作成と図って参りたいと思います。よろしく願いいたします。
2:59:04	規制庁側からは以上で東北電力さんの本店さんの方から何かございますでし ょうか。
2:59:17	答弁でもタムラ弁本店側から特にございません。
2:59:21	以上です。
2:59:24	規制庁フジワラですヒアリングのほうは終了いたします。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。